

漁海況予報事業（情報交換推進事業）

兼 浜 安 信

1 目的および内容

沿岸沖合漁業に関する漁況海況の調査研究及び資源調査の結果に基づいて予報を作成すること並びに漁況海況情報を収集し、当業者に通報することにより、漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資する。

2 方 法

(1) 情報の収集

① 海況情報

表面水温データーは県下のマグロ船（19トン型）に依頼し、漁業無線局を通じ時刻、位置、水温のデーターを得る。これらのデーターを毎週月水金にセンターにテレファックスで送信する。

② 漁況情報

マグロ、カジキ、カツオ等について、市場及び漁協へ依頼し、毎日の船別、魚種別、銘柄別水揚量及び入港隻数の情報を週一回報告願う。情報収集先はマグロ、カジキ関係が県漁連、那覇地区漁協で、カツオ一本釣が本部漁協、伊良部漁協、八重山漁協から収集している。

(2) 対象漁業種類

カツオ一本釣、マグロはえ縄

(3) 広報方式

県速報を隔週報とし、周年広報する。

(4) 広報対象

各漁協及び漁業関係団体、水研、各県水試、主要市町村等

(5) 広報の内容

県下主要市場（漁協）におけるカツオ、マグロ類、カジキ類の水揚量、入港隻数及び沖縄近海の表面水温分布

(6) 結 果

別図のとおり

カツオ漁況情報

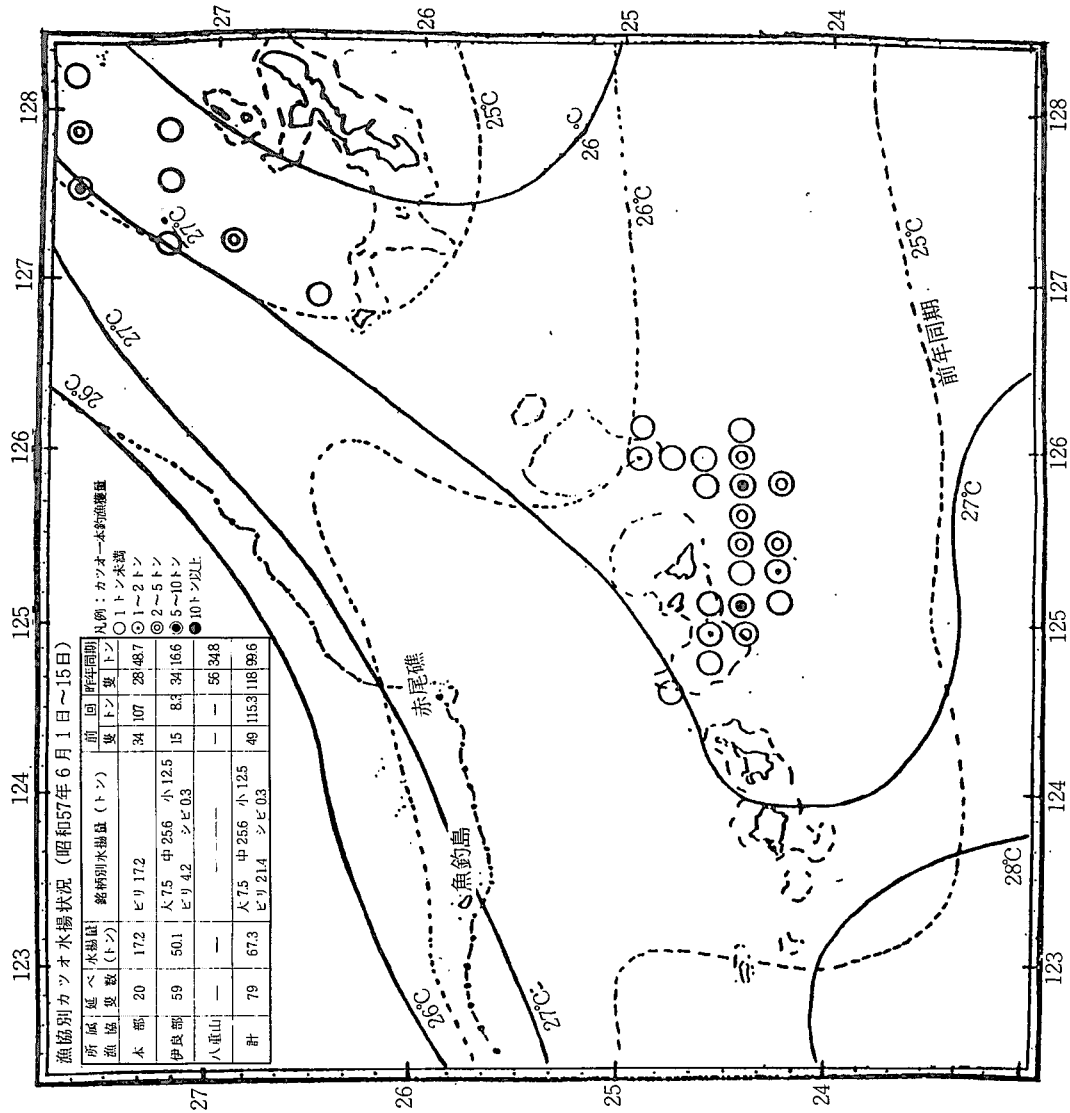
(昭和57年度第1報) 沖縄県水産試験場
 901-03 TEL.098994-3593
 沖縄県糸満市西崎町1丁目

(昭和57年6月1日～6月15日)

漁協別カツオ水揚げ状況 (昭和57年6月1日～15日)

所 属	延べ水揚量 変数 (トン)	総柄別水揚量 (トン)	前 回		昨年同期 前年同月 変 トン
			変	ト	
本部	20	172	34	107	28487
伊良部	59	50.1	大7.5 ヒリ4.2	中25.6 小12.5 シビ0.3	83 34166
八重山	—	—	—	—	56 348
計	79	67.3	大7.5 ヒリ21.4	中25.6 小12.5 シビ0.3	49 1153 118 99.6

凡例：カツオ一本釣漁量
 ○1トン未満
 ⊙1～2トン
 ⊗2～5トン
 ⊕5～10トン
 ●10トン以上



§ 漁 況

今年のカツオ一本釣漁業の操業開始は、本部漁協が5月1日、伊良部漁協は5月24日、八重山漁協は出足が遅れているようです。

本部の5月の漁模様はビリ中心であるが、一日一隻あたりの平均水揚量はよく2.5トンであった。6月上半期における漁はビリ中心であり、一日一隻当り平均水揚量は0.9トンで5月に比べてかなり減少している。

伊良部漁協においては5月の水揚量が、中、小まじりの9.1トンで平均水揚量は0.6トンであった。6月の上半期は5.01トンで平均水揚量は、大、中、小まじりの0.8トンであった。昨年同様に比べてややよい。

カツオ漁況情報

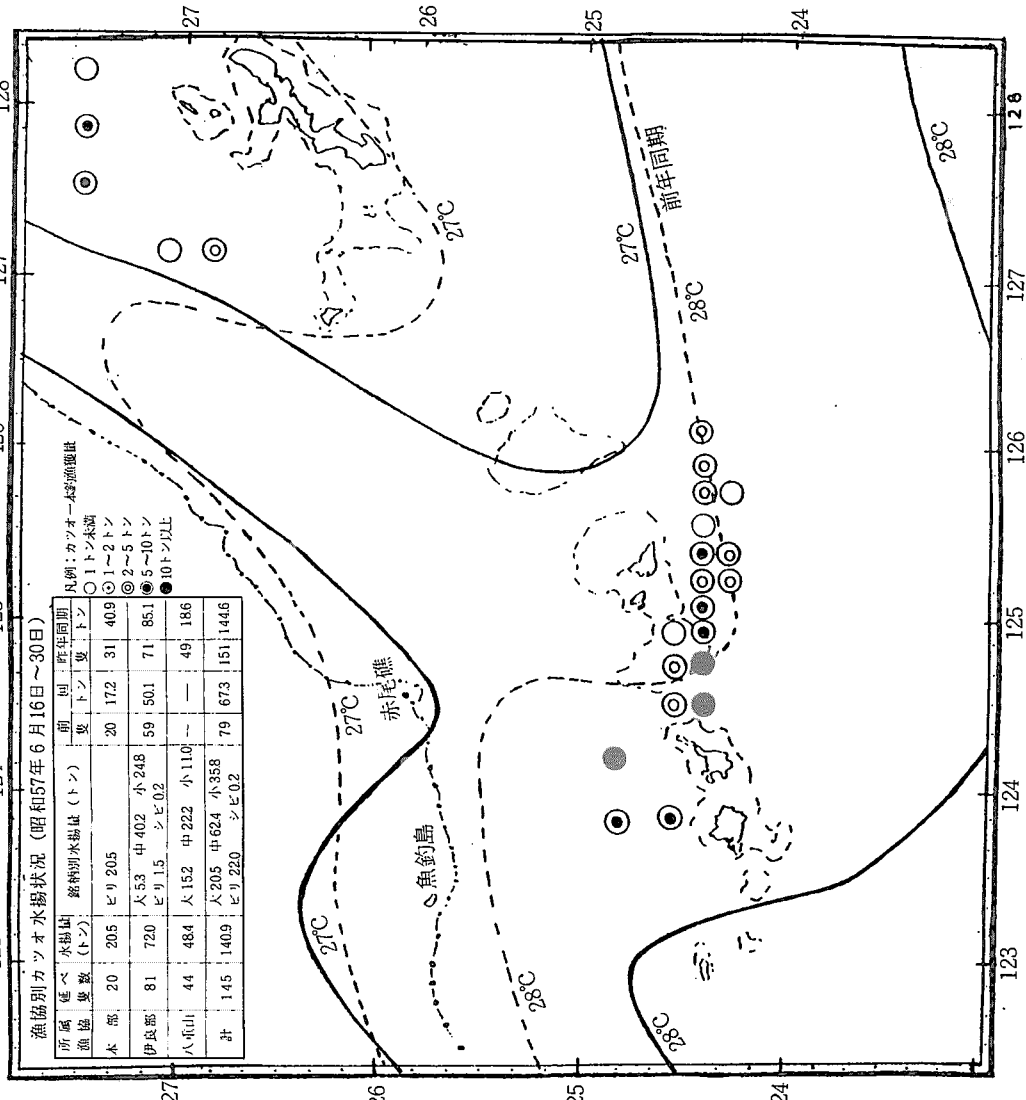
(昭和57年度第2報) 沖繩県水産試験場
 ☎901-03TEL098994-3593
 沖繩県糸満市西崎町1丁目

(昭和57年6月16日～6月30日)

漁協別カツオ水揚げ状況 (昭和57年6月16日～30日)

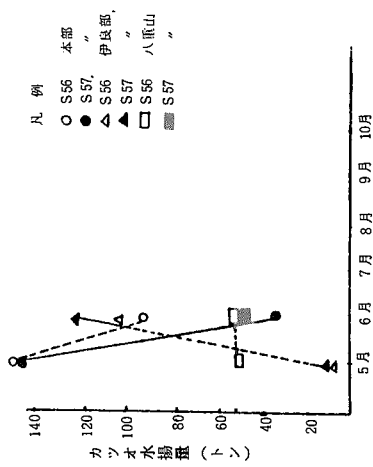
所産 漁協	産べ 量数	水揚 量 (トン)	水揚 量 (トン)	前 年 同 期 量 (トン)	前 年 同 期 量 (トン)
本部	20	205	ヒリ205	20	172
伊良部	81	720	大53 中402 小248 ヒリ15 シビ02	59	501
八重山	44	484	大152 中222 小110	—	49
計	145	1409	大205 中624 小358 ヒリ220 シビ02	79	673
				151	1446

凡例：カツオ一本流産量
 ○ 1トン未満
 ⊙ 1～2トン
 ⊗ 2～5トン
 ⊕ 5～10トン
 ● 10トン以上



§ 漁況

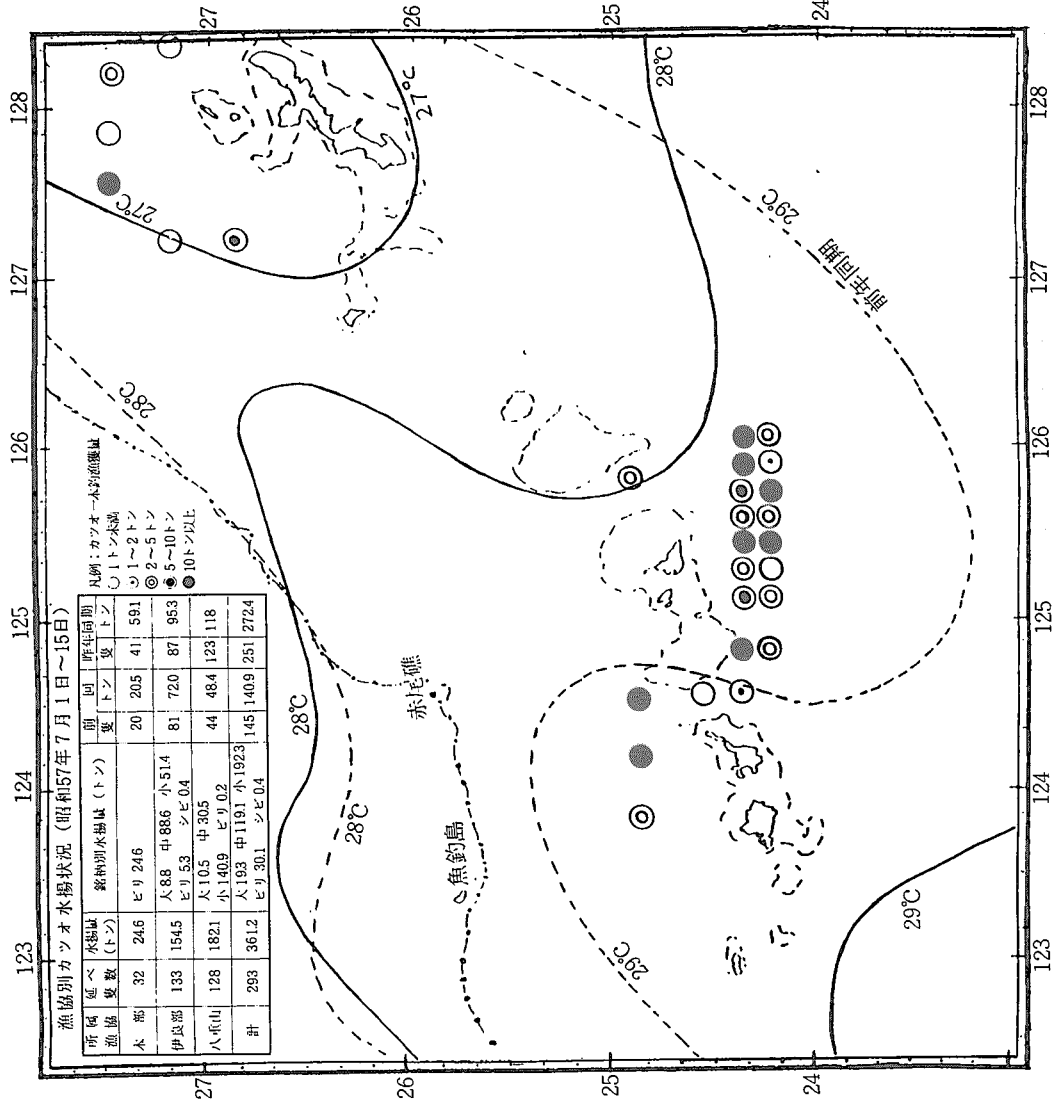
6月下旬期におけるカツオの1日1隻当りの水揚げは本部漁協が1.0トン、伊良部漁協0.9トン、八重山漁協1.1トンであった。本部漁協は前回同様どり主体であり、伊良部、八重山は中、大判主体である。昨年同様に比べて本部、伊良部はやや水揚げが少ない。八重山は昨年は不漁であったが今年はややよい。



カツオ漁況情報

(昭和57年度第3報) 沖繩県水産試験場
 0901-43 TEL098994-3593
 沖繩県糸満市西崎町1丁目

(昭和57年7月1日～7月15日)



§ 漁況

7月上旬期におけるカツオの水揚げ状況は、本部漁協が1隻当りヒリ主体の0kg～1.861kg、平均76.9kgで昨年同期の68%である。
 伊良部漁協は1隻当り中判主体の6.6kg～5.073kg、平均1.162kgで昨年同期の106%でややよい。
 八重山漁協は1隻当り小判主体の2.1kg～8.264kg、平均1.423kgで昨年同期の148%でかなりよい。

カツオ漁況情報

(昭和57年度第4報) 沖繩県水産試験場
 ◎901-08 TEL 098994-3593
 沖繩県糸満市西崎町1丁目

(昭和57年7月16日～7月31日) 27

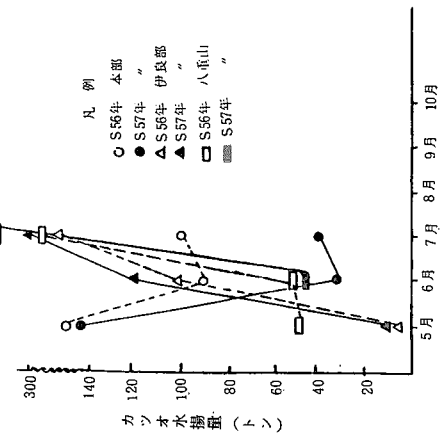
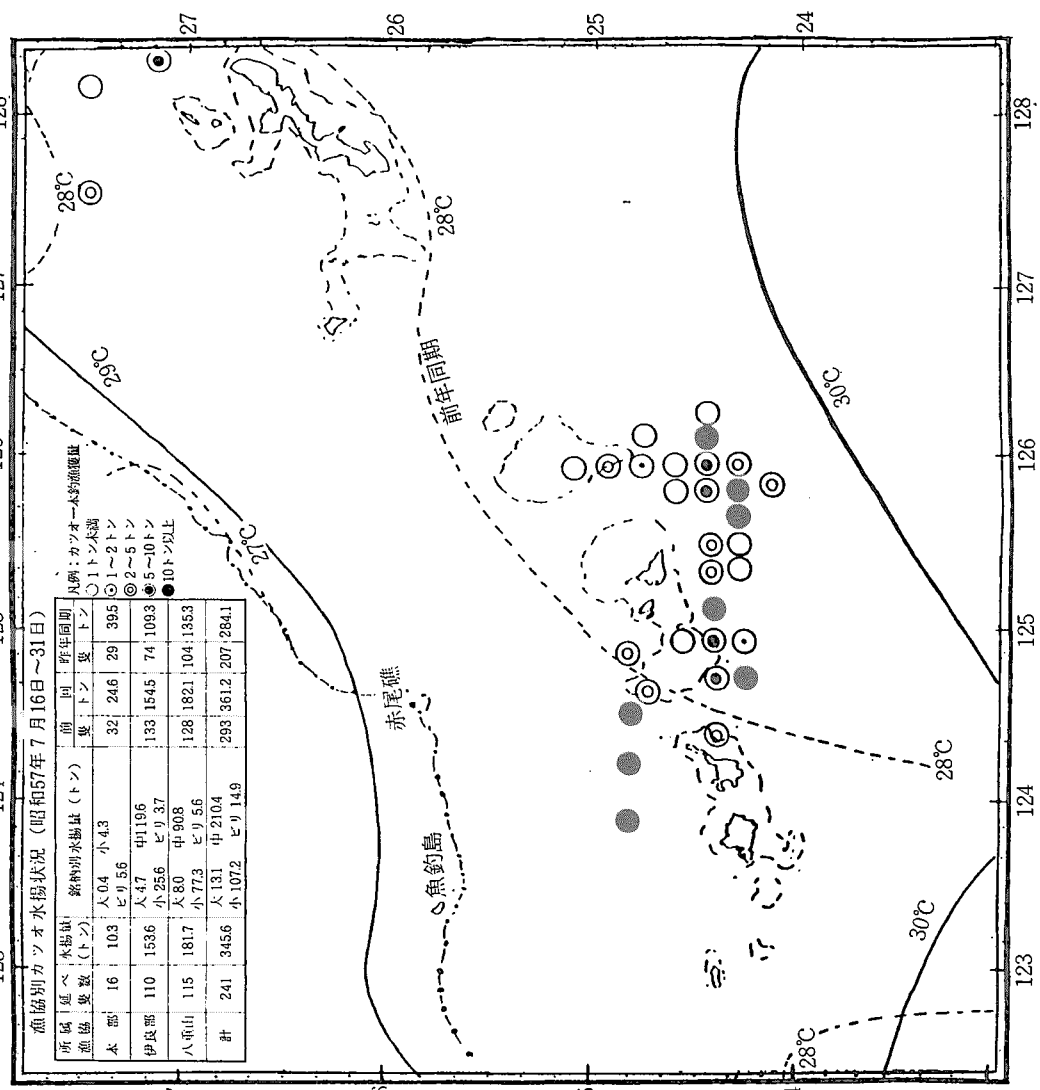
§ 漁況

7月下旬におけるカツオの水揚げ状況は、本部漁協が1隻当り小判ピリ混りの0～1.915kg、平均6.44kgで昨年同期の4.8%で不調である。伊良部漁協は1隻当り中判主体の4.0～6.41.6kg、平均1.39.6kgで昨年同期の9.5%である。八重山漁協は中判主体の9.0～6.30.1kg、平均1.58.0kgで昨年同期の1.2.2%と打点である。

魚協別カツオ水揚げ状況 (昭和57年7月16日～31日)

所属	延べ水揚げ隻数(ト)	銘柄別水揚げ量(ト)		同一野年同期	
		大	小	隻	ト
本部	16	103	小4.3 ヒリ56	32	246
伊良部	110	1536	大4.7 小256 ヒリ3.7	133	1545
八重山	115	1817	大8.0 小773 ヒリ5.6	128	1821
計	241	3456	大13.1 小1072 ヒリ14.9	293	3612

凡例：カツオ一本釣獲量
 ○ 1ト未満
 ◎ 1～2ト
 ⊙ 2～5ト
 ⊕ 5～10ト
 ● 10ト以上



カツオ漁況情報

(昭和57年度第5報) 沖縄県水産試験場
 ☎901-03 TEL.098994-3593
 沖縄県糸満市西崎町1丁目
 (昭和57年8月1日～8月15日)

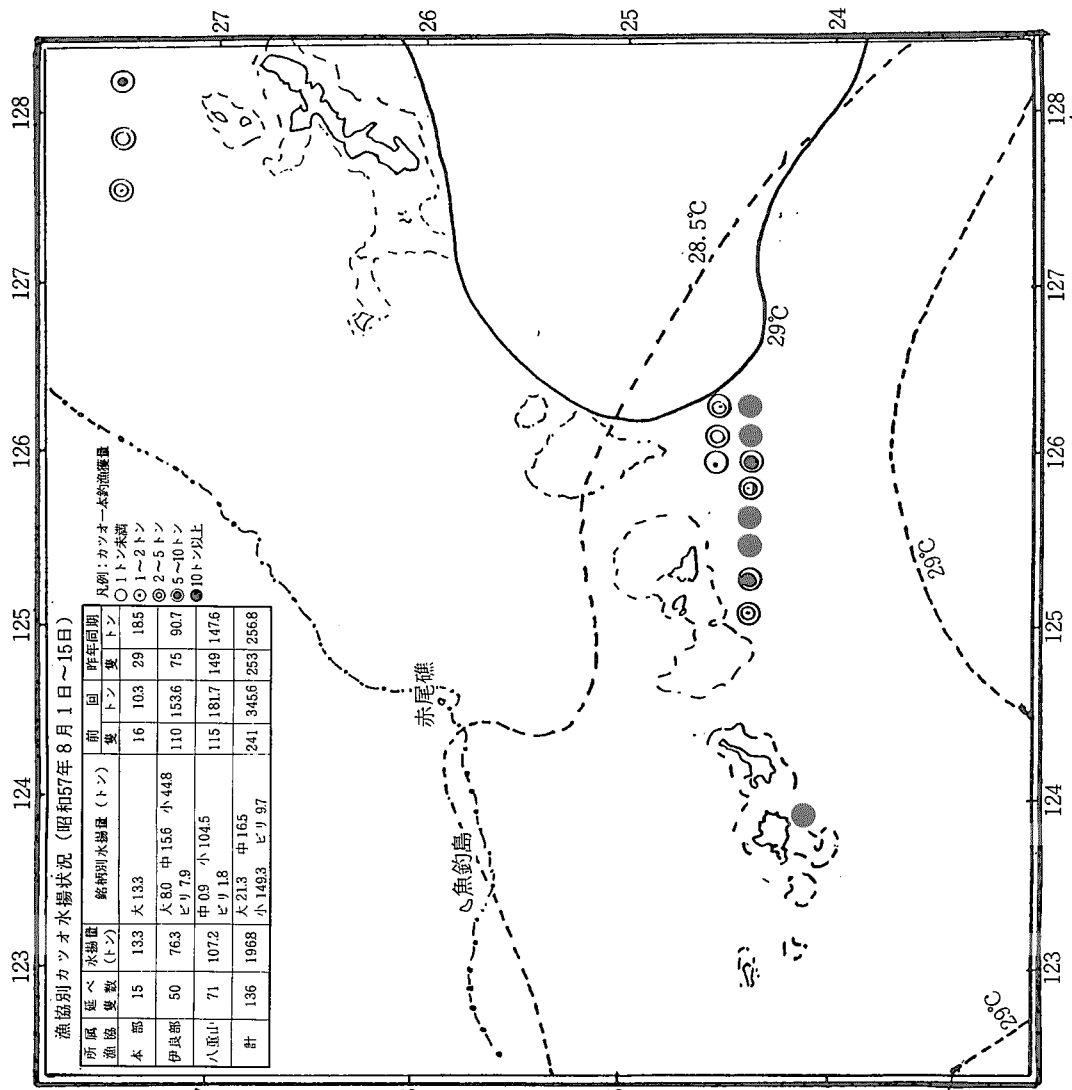
§ 漁況

8月上半期におけるカツオの水揚げ状況は先島(宮古、八重山)においては台風11号の影響で5日間(7月下半期)に比べて減少している。

本部漁協の1隻当りの水揚げ量は大判主体の201kg～1,774kgで平均887kgであった。

伊良部漁協の1隻当りの水揚げ量は小判主体の41kg～4,257kgで平均1,526kgで好漁であった。

八重山漁協の1隻当りの水揚げ量は小判主体の109kg～5,414kgで平均1,510kgであった。



カツオ漁況情報

(昭和57年度第6報) 沖縄県水産試験場
 ⑨01-03 TEL 098994-3593
 沖縄県糸満市西崎町1丁目
 (昭和57年8月16日～8月31日)

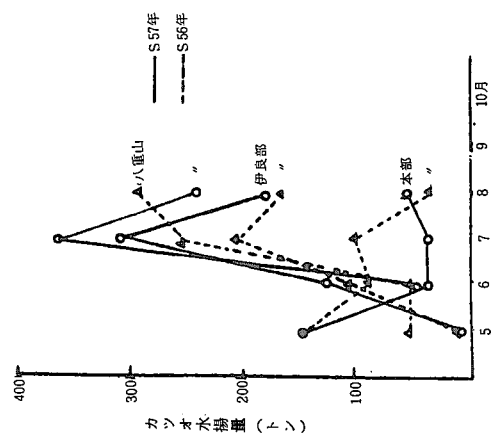
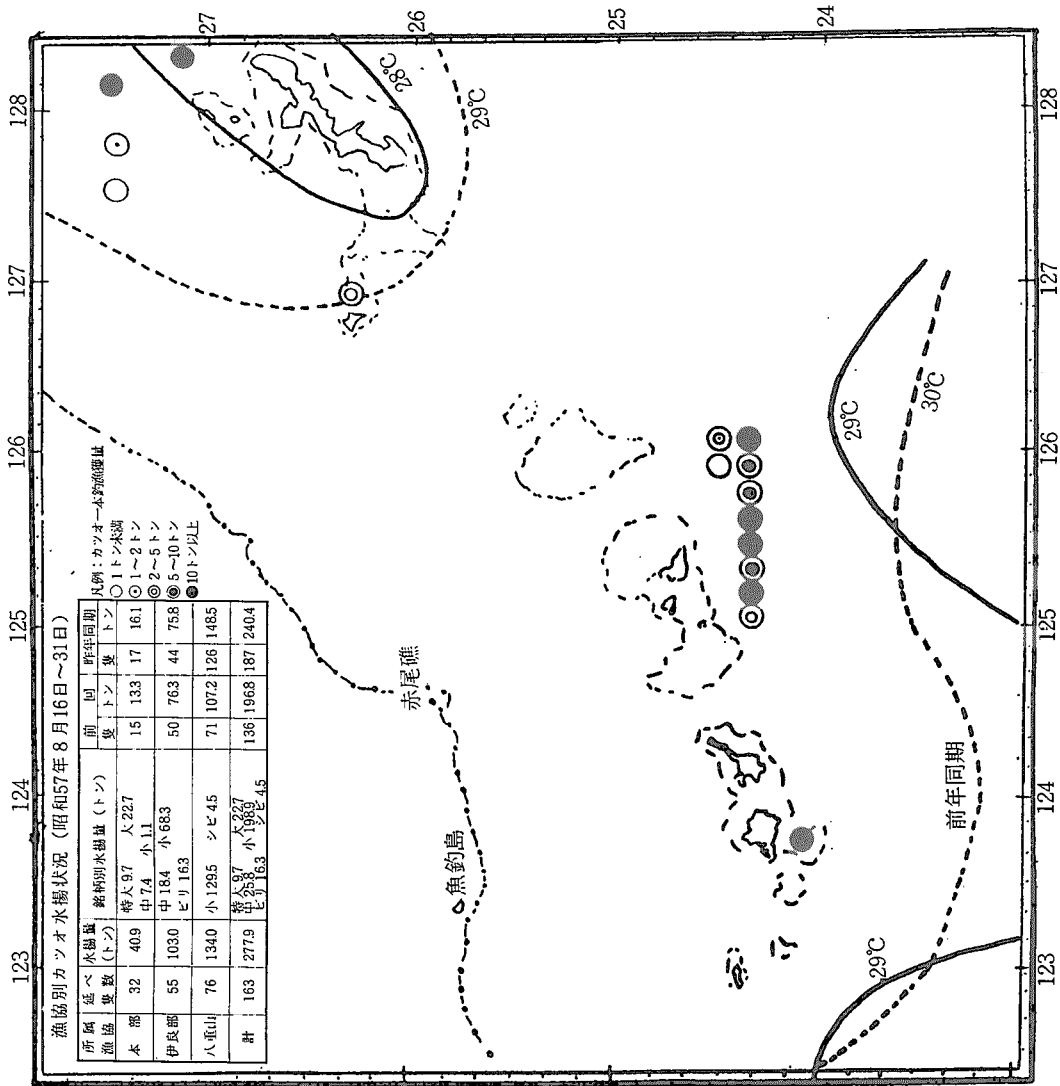
§ 漁況

8月下旬におけるカツオの水揚げ状況は全般的に良好で昨年同期の4.1%増であった。
 本部漁協の1隻当りの水揚げ量は大判主体で2.2～7.1tで平均1.278kgであった。
 伊良部漁協の1隻当りの水揚げ量中、小判主体の1.18～4.554kgで平均1.873kgであった。
 八重山漁協の1隻当りの水揚げ量は小判主体で5.6～5.89kgで平均1.763kgであった。

漁協別カツオ水揚げ状況 (昭和57年8月16日～31日)

所属漁協	船隻数	水揚げ量 (トン)	銘柄別水揚げ量 (トン)		前日	回	昨年同期	
			特大	中				
本部	32	409	大227 中7.4	小1.1	15	133	17	16.1
伊良部	55	1030	中18.4 小163	ヒリ	50	763	44	75.8
八重山	76	1340	小129.5 特大9.7	小227	71	1072	126	148.5
計	163	2779	特大9.7 中28.8 小163	小227	136	1968	187	240.4

凡例：カツオ一本水揚げ量
 ○ 1トン未満
 ⊙ 1～2トン
 ⊗ 2～5トン
 ⊕ 5～10トン
 ⊙ 10トン以上



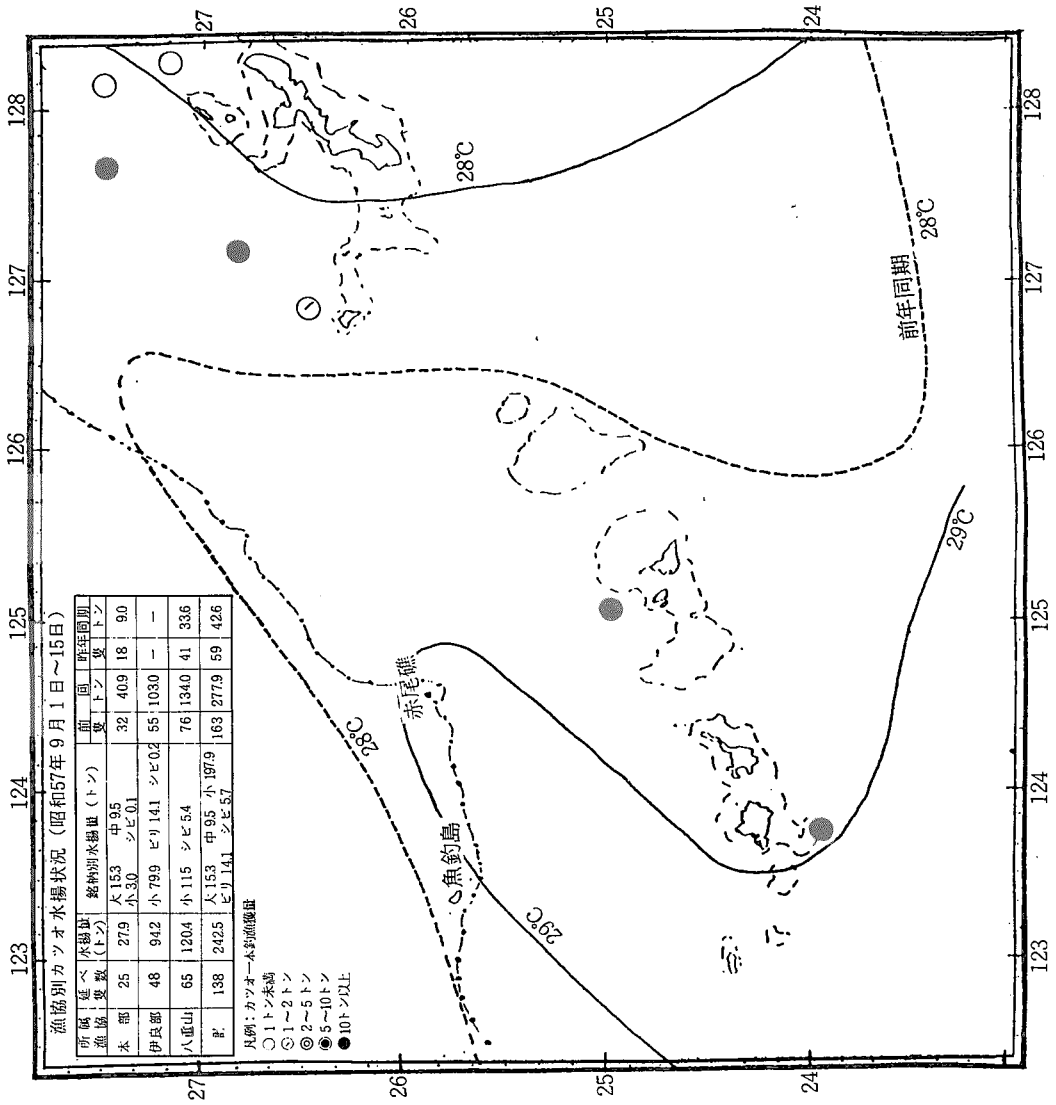
カツオ漁況情報

(昭和57年度第7報) 沖縄県水産試験場

☎901-03 TEL 098994-3593

沖縄県糸満市西崎町1丁目

(昭和57年9月1日～9月15日)



§ 漁況

9月上半期におけるカツオの水揚げ状況は昨年同期の約200トン増で好漁であった。

本部漁協の1隻当りの水揚げ量は大判主体で0～3,260kgで平均1,116kgであった。

伊良部漁協の1隻当りの水揚げ量は小判主体で14～5,38kgで平均1,964kgであった。

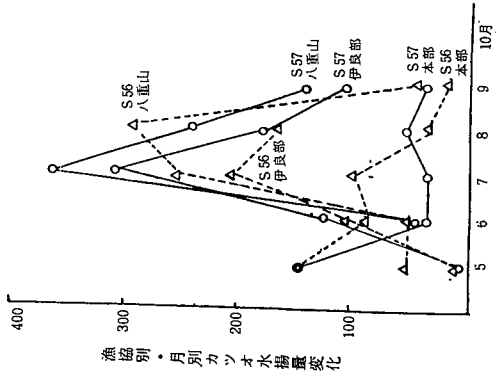
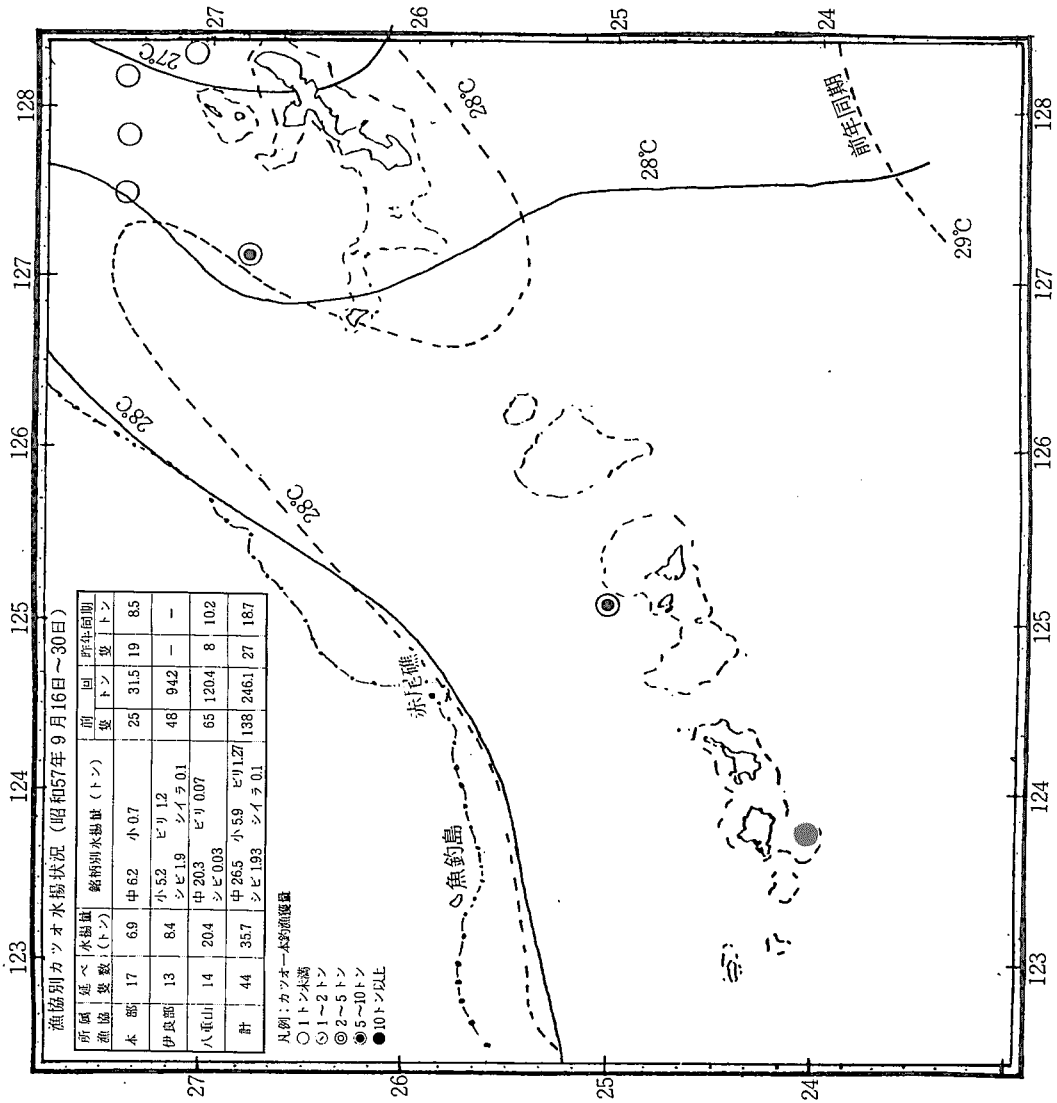
八重山漁協の1隻当りの水揚げ量は小判主体で128～5,092kgで平均1,853kgであった。

カツオ漁況情報

(昭和57年度第8報) 沖縄県水産試験場
 ⑨901-03 TEL:098994-3593
 沖縄県糸満市西崎町1丁目

§ 漁況

9月下旬期における本部漁協の1隻当りの水揚量は中判主体で平均0.4トンであった。伊良部漁協の1隻当りの水揚量は小判主体で平均0.6トンであった。八重山漁協の1隻当りの水揚量は中判主体で平均1.8トンであった。各漁協とも今期をもってカツオ漁は、ほぼ終漁した。



漁海況速報

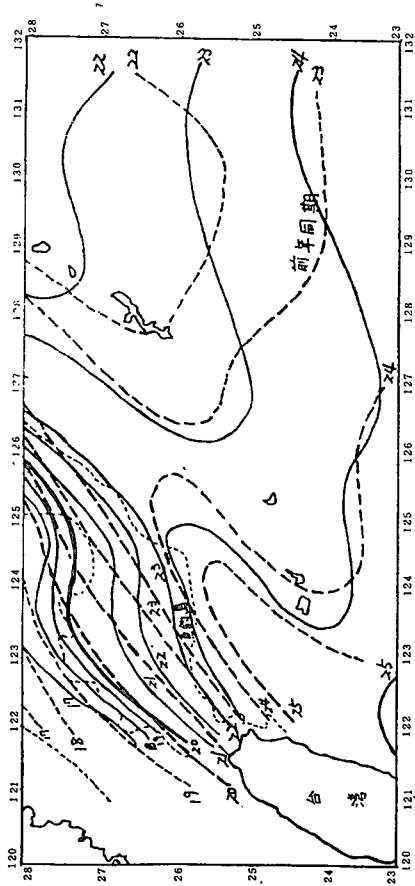
沖繩県水産試験場

〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 21 報)
(昭和 57 年度第 1 報)

(昭和 57 年 4 月 1 日 ~ 4 月 15 日)

(沖縄沿近海水温図)



等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
(昭和57年4月1日~4月10日)

§ 海況

沖縄近海の表面水温22~24℃台で、前回(3月後半)と変化はない。N 30°, E 126° 付近では、1℃内外昇温した。沖縄島北西方の黒潮は、北西方90マイルを流去している。魚釣島近海の表面水温は、24.1℃で平年比+0.5℃である。那覇、宮古、石垣、与那国の沿岸定地水温は、平年比土0~+0.5℃でほぼ平年並となっている。総じて東シナ海南部の水温は平年並である。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年4月1日~4月15日)

業種	所屬漁協	延べ水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期
				隻	トン		
マグロ	県漁連	89	及びフィリピン、西カリニン諸島	キハダ	38.5	メバチ	34.3
				ピンナガ	1.5	マカジキ	1.1
				クロカワ	37.1	シロカワ	2.4
				バシヨウ	0	メカジキ	8.0
				その他	4.5		
				(クロカワカジキには具外搬入が4回あり33.6トン含む)			
はえ縄	那覇地区	37	"	キハダ	25.2	メバチ	23.3
				ピンナガ	2.8	マカジキ	1.0
				クロカワ	9.5	シロカワ	1.0
				バシヨウ	0	メカジキ	5.8
				その他	0.1		
				(クロカワカジキには具外搬入が18回あり8.2トン含む)			
え縄	計	126	"	キハダ	63.7	メバチ	57.6
				ピンナガ	4.3	マカジキ	2.1
				クロカワ	46.6	シロカワ	3.4
				バシヨウ	0	メカジキ	13.8
				その他	4.6		
		126	196.1			52	144.4
						52	144.4
						126	298.7
							107
							261.2

§ 漁況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は196.1トンで総延獲数は126隻であった。1隻あたりの平均水揚量は1.6トンであった。また県漁連における1隻あたり最高水揚量は6.2トンで最低0.3トンであった。那覇地区漁協においては最高7.0トンで最低0.2トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

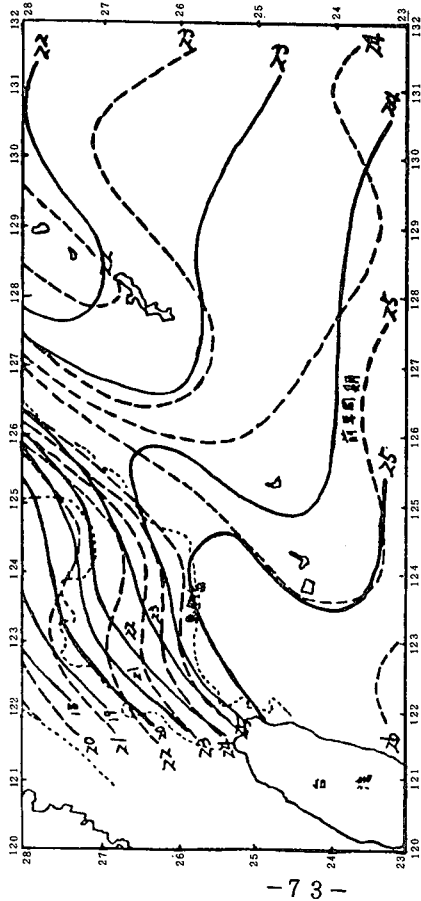
〒901-03 沖繩県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 2 2 報)

(昭和 57 年度第 2 報)

(昭和 57 年 4 月 16 日 ~ 4 月 30 日)

(沖繩沿岸海水温図)



等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
(昭和57年4月21日~4月30日)

§ 海 況

沖縄近海の沿岸水温は、22~25°C台で、宮古、八重山近海では4月前半に比べ、1°C内外昇温した。琉球列島北西の黒潮域の水温は、前年、平年に比べ1°C内外低めとなっている。当水試が4月27日に実施した沖繩島南部15マイル沖の沿岸観測結果では、表面水温は23°C台ではほぼ平年並であるが、沖合部(島から10~15マイル沖)の150m~200m層の水温は18~19°C台で平年比1°C内外低めとなっている。また、表面流況は、0.1~0.6ノットの南東~南西流で比較的流速は速い。沖合部深層の低温現象は沖繩島南部海域への冷水接近の兆しである。県下各地の沿岸水温は、那覇22.3°C、宮古23.2°C、石垣23.5°C、与那国24.5°Cで、いずれも平年に比べ低めとなっている。また魚釣島近海の表面水温は25°Cで平年並である。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年4月16日~4月30日)

業種	所屬漁協	延べ水揚げ隻数	水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回		昨年同期			
					隻	トン	隻	トン				
マグ	県漁連	82	123.6	及び西カリン東海城	キハダ	52.3	メバチ	19.9	89	127.4	78	166.1
					ビンナガ	3.1	マカジキ	2.4				
					クロカワ	30.7	シロカワ	1.1				
はえ縄	那覇地区	26	61.0	"	キハダ	25.1	メバチ	19.8	37	68.7	23	61.8
					ビンナガ	2.7	マカジキ	1.8				
					クロカワ	5.8	シロカワ	1.0				
計	108	184.6	126	"	キハダ	77.4	メバチ	39.7	126	196.1	101	227.9
					ビンナガ	5.8	マカジキ	4.2				
					クロカワ	36.5	シロカワ	2.1				
					バシヨウ	0.7	メカジキ	10.9				
					その他	7.3						
					(クロカワカジキには県外搬入が40回あり26.1トン含む)							
					(クロカワカジキには県外搬入が5回あり2.8トン含む)							

§ 漁 況

マグロはえ縄——— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は184.6トンで総延隻数は108隻であった。1隻あたりの平均水揚げ量は1.7トンであった。また県漁連における1隻あたり最高9.8トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高8.1トンで最低0.1トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

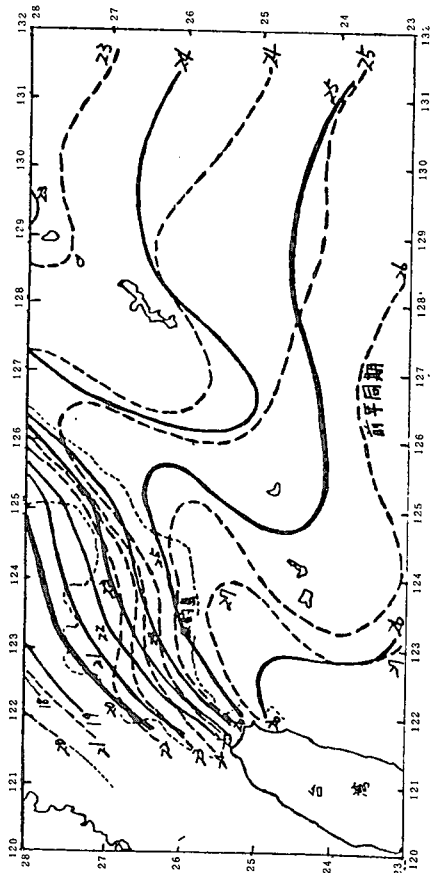
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 23 報)

(昭和 57 年度 第 3 報)

(沖繩沿近海水温図)

(昭和 57 年 5 月 1 日 ~ 5 月 15 日)



(等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
昭和57年5月1日~5月10日)

§ 海 況

沖繩近海の表面水温は、23~25°C台で4月下旬に比べ1°C程昇温し、ほぼ平年並の水温となっている。5月12日に実施した当水試の粟國北方13マイル周辺での表面流況観測結果では0.7~0.9ノットの南流がみられる。また5月6日の慶良間列島から南東方60マイルの点までの第11管区海上保安本部の表面流況観測結果では0.3~1.3ノットの東北東~東南東の流れがみられ、とりわけ、喜屋武岬南30マイルで1.3ノットの東北東流が観測されている。県下各地の定置水温は、那覇で22.8°C(平年差-0.9°C)、宮古で24.6°C(同-0.6°C)、石垣で24.9°C(同-0.8°C)、与那国で25.7°C(同-0.2°C)である。また、魚釣島近海の表面水温は25.2°Cで平年差-0.6°Cである。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年5月1日~5月15日)

業種	所属漁協	延べ水揚量(トン)	魚場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期
				隻	トン		
マグロ	県漁連	65	及川、フリップ、西カロリン、東カリン、諸島	キハダ	83.5	メバチ	27.4
				ビンナガ	2.9	マカジキ	2.3
はえ縄	那覇那覇地区	24	"	クロカワ	18.8	シロカワ	0.9
				バシヨウ	2.2	メカジキ	6.4
え縄	計	89	"	その他	8.2		
				キハダ	66.2	メバチ	38.0
				(クロカワカマジキには県外搬入が22回あり12.3トン含む)			
				(クロカワカマジキには県外搬入)			
		26	61.0	22	105.9		
		108	184.6	84	310.2		

§ 海 況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げは279.6トンで総延び数は89隻であった。一隻あたりの平均水揚げは3.1トンであった。また、県漁連における一隻あたり最高水揚げは7.9トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高11.5トンで最低0.1トンであった。

漁海況速報

(第 24 報)

(昭和 57 年 第 4 報)

沖縄県水産試験場

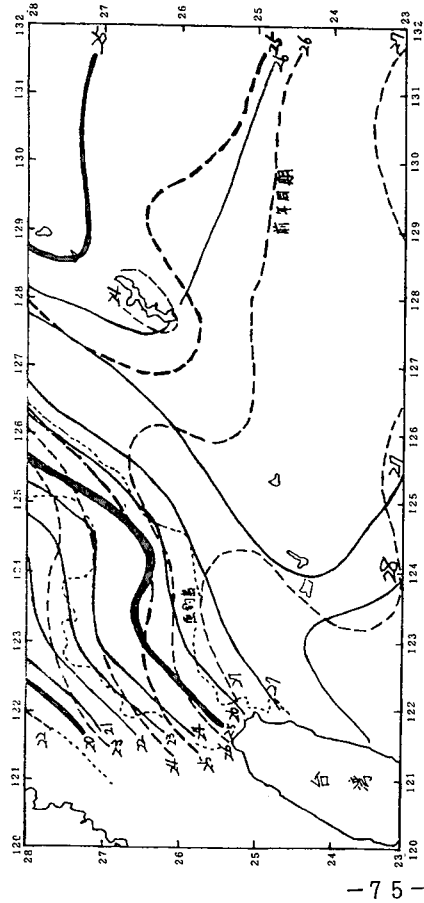
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目

TEL 09899-4-3593

テレファックス 09899-4-8703

(昭和 57 年 5 月 16 日 ~ 5 月 31 日)

(沖縄沿岸海水温図)



等温線は西日本海況旬報(最
崎海洋気象台)より引用
(昭和57年5月21日~5月31日)

§ 海況

沖縄近海の表面水温は、25~27°C台で、前回(5月前半)に比べ、1~2°C昇温し、平年に比べ1°C前後高めとなっている。当水試が18~19に実施した伊江島から大陸側へ至る黒潮の横断観測結果では、黒潮は前年同期に比べ勢力は強く、最大2.2ノットが観測された。また、沖縄島と黒潮との間に存在する南下流は、最大2.2ノットがみられ、強勢で、例年になく沖縄島に接近して流去している。そのため、沖縄島東岸の表面水温は26°C台で平年に比べ2°C程高めとなっている。また、5/5に実施した沖縄南部沿岸観測では、喜屋武岬南方沖5~10マイル及び中城湾口冲南東5~10マイルでは、08~13ノットの北東~東の流れがみられた。県下各地の沿岸水温は、那覇24.9°C(平年差+0.2°C)、雪古25.4°C(同-0.9°C)、石垣26.0°C(同-0.6°C)、与那国27.0°C(同+0.3°C)である。また魚釣島近海の表面水温は26.5°Cで平年並である。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年5月16日~5月31日)

業種	所属漁協	延べ水揚げ隻数	魚場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期
				隻	トン		
マグロ	県漁連	48	及びフィリピン、西カロリン、東方諸島	キハダ	92.1	メバチ	19.1
				ビンナガ	6.8	マカジキ	3.3
				クロカワ	13.5	シロカワ	1.0
グロ	県漁連	65	その他	バシヨウ	1.9	メカジキ	9.3
				その他	15.7		
				(クロカワカジキには県外搬入が3回あり1.7トン含む)			
はえ	那覇地区	23	"	キハダ	68.5	メバチ	23.5
				ビンナガ	0.8	マカジキ	0.6
				クロカワ	6.0	シロカワ	0.2
え	計	71	"	バシヨウ	1.4	メカジキ	7.3
				その他	0.8		2.4
				(クロカワカジキには県外搬入)			
計		23	109.1		127.0	132.9	
計		71	271.8		279.6	312.4	

§ 海況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は271.8トンで総隻数は71隻であった。一隻あたりの平均水揚量は3.8トンであった。また、県漁連における一隻あたり最高水揚量は13.5トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高11.4トンで最低0.2トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

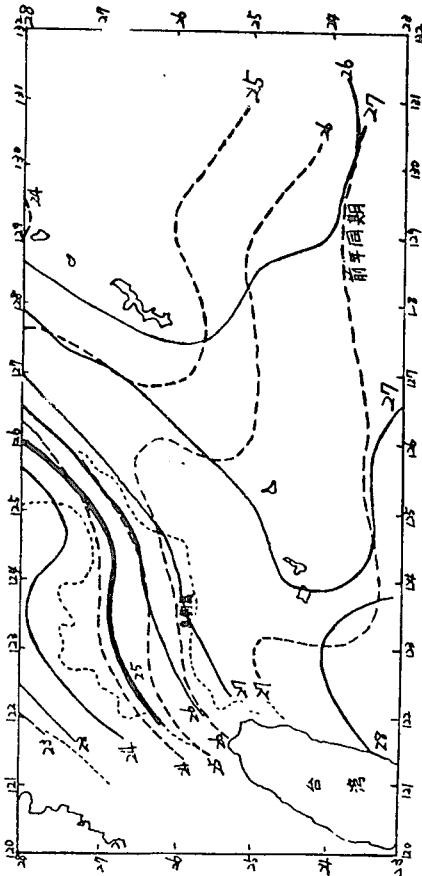
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 25 報)

(昭和 57 年度 第 5 報)

(昭和 57 年 6 月 1 日 ~ 6 月 15 日)

(沖繩近海水温図)



(等温線は西日本海況旬報(長崎海洋气象台)より引用
昭和57年6月1日~6月10日)

海況

沖縄島近海の表面水温は、25~27°C台で、前回(5月下旬)とはほぼ同様である。前年同期に比べ1~2°C、平年に比べ1°C内外高めとなっている。6/9~10に実施した表面流況観測では粟島島北方12マイル付近で0.4ノットの南南西流がみられ、前回5月中旬の0.7~0.9ノットの南流に比べ、流速が遅くなっている。県下各地の沿岸水温は、那覇で25.0°C(平年差-0.2°C)宮古25.5°C(同-1.4°C)石垣26.4°C(同-0.7°C)与那国27.1°C(同±0)である。
また、長崎海洋気象台の夏季の海況予報では、沖縄島北西の東シナ海の表面水温は平年並に経過する見込み、黒潮の流量は、平年比やや多い見込みとなっている。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年6月1日~6月15日)

業種	所属漁協	延べ漁獲隻数	水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回		昨年同期	
					隻	トン	隻	トン		
マグロ	県漁連	68	168.9	及川、西川、ロビン、東、方、諸、島	キハダ	110.1	メバチ	11.4	48	77
					ピンナガ	2.6	マカジキ	2.9		
					クロカワ	21.2	シロカワ	0.5		
ハエ	那覇地区	29	67.4	"	メバチ	46.2	メバチ	9.8	23	29
					マカジキ	0.6	シロカワ	0.4		
					シロカワ	6.3	シロカワ	0		
え縄	計	97	236.3	"	メバチ	11.1	メバチ	3.2	71	106
					シロカワ	1.8	シロカワ	0.5		
					その他	11.1	その他	10.5		
					(クロカワカジキには県外搬入が27回あり15.2トン含む)					
					(クロカワカジキには県外搬入2回あり1.2トン含む)					
					162.7					
					109.1					
					271.8					
					300.9					

S 漁況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は236.3トンで総延獲数は97隻であった。一隻あたりの平均水揚量は2.4トンであった。また、県漁連における一隻あたり最高水揚量は15.7トンで最低0.1トンであった。那覇地区漁協においては最高9.0トンで最低0.06トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

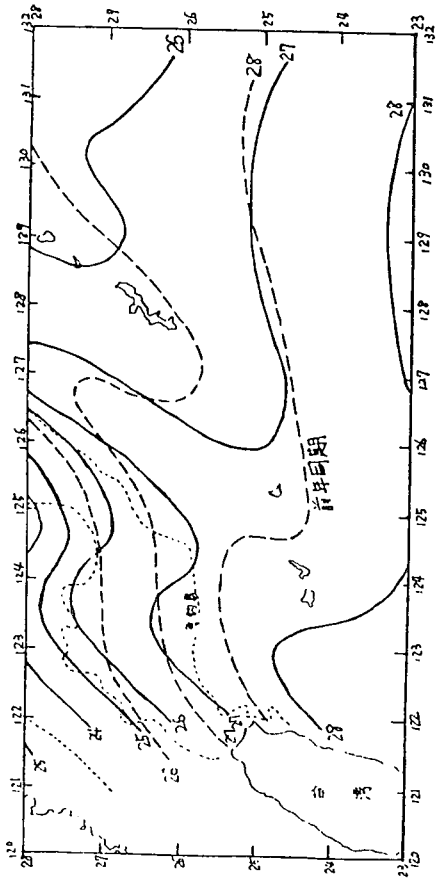
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 26 報)

(昭和 57 年度 第 6 報)

(沖繩沿岸海水温図)

(昭和 57 年 6 月 16 日 ~ 6 月 30 日)



(等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
(昭和57年6月21日~6月30日))

海況

沖繩近海の表面水温は、26~27°C台で、前回(6月前半)に比べ、1°C程昇温した。前年、平年に比べ1°C程低めとなっている。6/25~28に実施された第11管区海上保安本部の表面流況観測結果では、石垣島北西の黒潮は、魚釣島を流うように流去しており魚釣島北西の大陸棚上で1.2~2.1ノットの北東流がみられた。また、6/16に当水試が実施した表面流況観測の結果では、久米島西方に0.4~0.6ノットの南東~南流がみられたが、前年5月にみられた1ノット以上の強い南流に比べ著しく弱勢となっている。

県下各地の沿岸水温は、那覇で26.1°C(平年差-0.7)宮古27.7°C(同-0.6)石垣27.7°C(同-0.8)与那国28.2°C(同+0.7)である。また魚釣島近海の表面水温は、27.4°Cで平年差-0.9°Cであった。

養殖別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年6月16日~6月30日)

養殖	所属漁協	延べ変数	水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回		昨年同期			
					隻	トン	隻	トン				
マ	県漁連	80	171.3	及び西カロリン諸島	キハダ	113.2	メバチ	8.3	68	63		
					ピンナガ	1.2	マカジキ	1.7				
					クロカワ	24.9	シロカワ	0.5				
グ	那覇地区	30	107.8	"	キハダ	80.9	メバチ	13.0	29	39		
					ピンナガ	0.6	マカジキ	0.5				
					クロカワ	4.7	シロカワ	0.8				
はえ縄	計	110	279.1	"	キハダ	194.1	メバチ	21.3	236.3	112		
					ピンナガ	1.8	マカジキ	2.2				
					クロカワ	29.6	シロカワ	1.3				
					その他	12.1	メカジキ	6.9				
					(クロカワカジキには県外搬入が28回あり178トン含む)					168.9	140.7	
					(クロカワカジキには県外搬入0)					67.4	112	
					その他					12.5	102	252.7

漁況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は279.1トンで総延び数は110隻であった。一日一隻当りの平均水揚量は2.5トンであった。また県漁連における最高水揚量は8.9トンで最低0.1トンであった。那覇地区漁協においては最高15.6トンで最低0.1トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

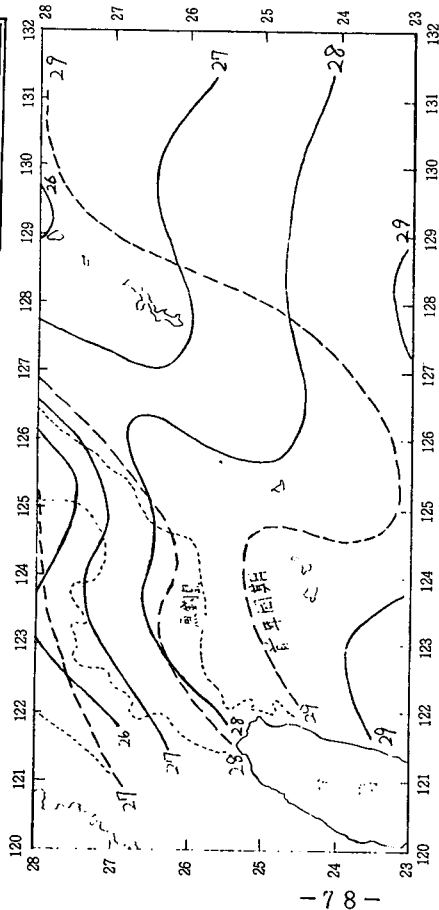
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 27 報)

(昭和 57 年度 第 7 報)

(昭和 57 年 7 月 1 日 ~ 7 月 15 日)

(沖繩沿岸海水温図)



(等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
昭和57年7月1日~7月10日)

§ 海 況

沖繩近海の表面水温は、26~28℃台で、前回(6月後半)に比べ、1℃程升温し、前年同期に比べ1℃程低め、平年に比べ1~2℃低めとなっている。7/10~11、1/4に「水試」が実施した沖繩島南部沿岸の表面流況観測では、ケラマ南方沖~喜屋武沖、喜屋武南東沖15マイル、中城湾南東沖15マイル、金武湾東沖15マイルで、いずれも東~東南東の流れがみられ、とりわけケラマ南方沖~喜屋武沖、喜屋武南東沖15マイルで0.8~1.4ノットの比較的強い東流がみられた。また7/12~13の第11管区海上保安本部の沖繩島北西方の流況観測では、沖繩島西岸の黒潮支流は島から離れ、1.4~1.6ノットの強流が観測されている。また黒潮の流速は、最高1.6ノットが観測された。県下各地の沿岸定地水温は、那覇で26.4℃(平年差-1.2℃)宮古で27.9℃(同-0.9℃)石垣28.4℃(同-0.4℃)与那国28.4℃(同±0)となっている。また魚釣島近海の水温は28.3℃で平年差-0.8℃であった。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年7月1日~7月15日)

業種	所屬漁協	延べ延べ数	水揚量(トン)	魚場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期			
					隻	トン					
マグ	県漁連	95	164.3	及び西カリリン東那覇糖島	キハダ	105.4	メバチ	10.5	80	65	
					ビンナガ	2.3	マカジキ	0.5			クロカワ
					(クロカワカジキには県外搬入が42回あり24.9トン含む)			171.3	145.4		
マグ	那覇地区	33	75.8	"	キハダ	53.5	メバチ	9.9	30	37	
					ビンナガ	0.3	マカジキ	0.3			クロカワ
					(クロカワカジキには県外搬入が1回あり0.5トン含む)			107.8	132.7		
え縄	計	128	240.1				279.1	278.1	102		

§ 漁 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は240.1トンで総延べ数は128隻であった。一隻あたりの平均水揚量は1.9トンであった。また県漁連における1隻あたり最高水揚量は7.3トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高9.5トンで最低0.1トンであった。

漁海況速報

沖縄県水産試験場

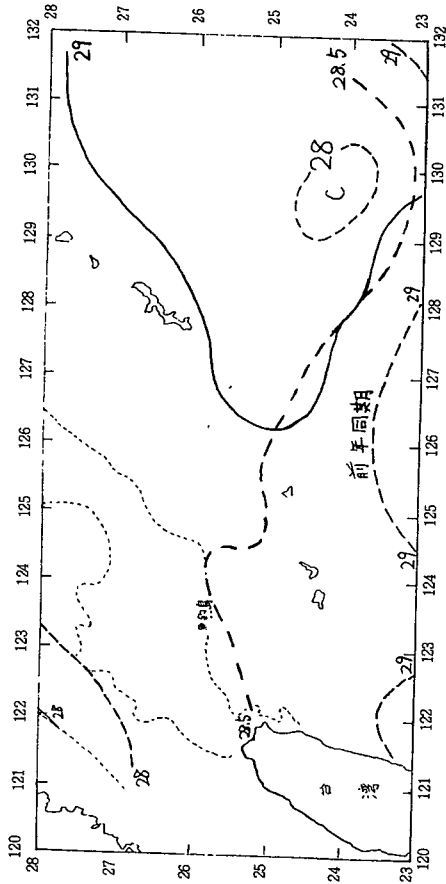
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 29 報)

(昭和 57 年度 第 9 報)

(沖縄沿岸海水温図)

(昭和 57 年 8 月 1 日 ~ 8 月 15 日)



(等温線は西日本海況旬報(東京海洋気象台)より引用
昭和57年8月1日~8月10日)

§ 海 況

沖縄近海の表面水温は、28°C台で、前回(7月後半)に比べ沖縄島以南で0.5°C内外降温した。前年同期とはほぼ同じ。また、全般的には平年並の水温となっているが、石垣・与那国の北方海域でやや低めとなっている。

県下各地の沿岸水温は那覇で28.3°C、宮古28.8°C(平年差-0.2°C)、石垣28.3°C(同-0.8°C)となっている。魚釣島近海28.3°C、平年差-1.1°Cである。

業種別、漁種別水揚げ状況 (昭和57年8月1日~8月)

業種	所属漁協	延べ水揚げ量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回水揚げ量(トン)	昨年同期水揚げ量(トン)
				キハダ	メバチ		
マ	県漁連	78	及川、西原、カリン、ロリン、東平、海城、緒島	キハダ	50.2	91	55
				メバチ	1.1	37.2	
				マカジキ	52.4	1.4	
				シロカワ	1.6	2.1	
グ	那覇地区	22	〃	キハダ	26.9	145.2	142
				メバチ	0.1	24.3	
				マカジキ	6.0	1.0	
				シロカワ	0.7	1.4	
え	計	100	〃	キハダ	0	34	17
				メバチ	77.1	61.5	
				マカジキ	58.4	2.4	
				シロカワ	2.3	3.5	
				県外搬入分	201.2	202.2	
				キハダ	41.7		
				メバチ	0.1		
				マカジキ	2.3		
				シロカワ	0.5		
				その他	2.3		
				県外搬入分	67.8	80.2	
				キハダ	77.1		
				メバチ	61.5		
				マカジキ	2.4		
				シロカワ	3.5		
				その他	18.1		
				県外搬入分	125	72	
				キハダ	201.2	202.2	
				メバチ			
				マカジキ			
				シロカワ			
				その他			

§ 漁 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は226.8トンで総延べ数は100隻であった。一隻あたりの平均水揚げ量は2.3トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚げ量は9.9トンで最低0.1トンであった。那覇地区漁協においては最高13.1トンで最低0.2トンであった。

漁海況速報

(第 30 報)

(昭和 57 年度 第 10 報)

沖縄県水産試験場

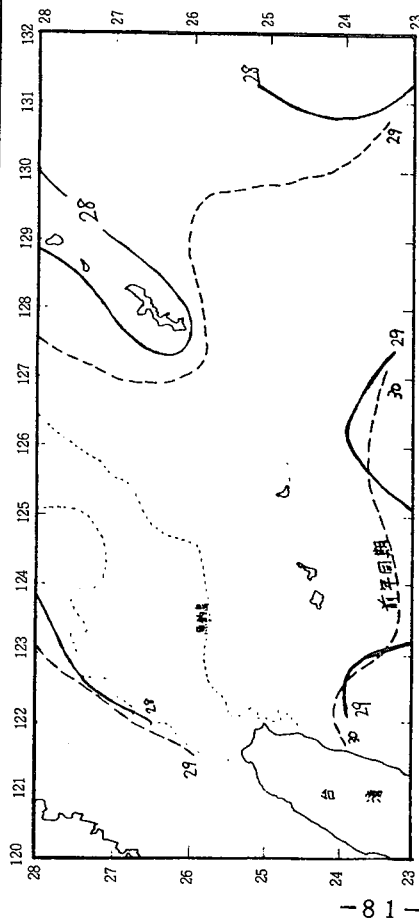
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目

TEL 09899-4-3593

テレファックス 09899-4-8703

(昭和 57 年 8 月 16 日 ~ 8 月 31 日)

(沖縄付近海水温図)



等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
昭和57年8月21日~8月31日

§ 海況

沖縄近海の表面水温は28°C台で8月前半とはほぼ同じであるが前年同期に比べ1°C程低い。8月17~20日の沖縄島北西方及び沖縄島南部海域の海洋観測の結果では沖縄島北西方の黒潮は最大流速2.2ノットで前年同期に比べ流速は速い。また、沖縄島西岸の黒潮の逆流は伊江島の北西沖で0.5ノット以下と弱く、久米島の西~南で0.6~1.1ノットと強く、前年同期と同様に久米島周辺で強勢である。また、沖縄島南部沿岸海域(喜屋武岬南東15マイル~中城湾口南東15マイルの範囲)の表面流は中城湾口南東沖に0.8ノットの南西流がみられるほか、0.4ノット以下と流速は遅く、流向も不ぞろいである。

県下各地の沿岸水温は、那覇で27.8°C、宮古28.9°C(平年差+0.1°C)石垣28.7°C(同-0.1°C)と那覇28.3°C(同-0.2°C)で平年並である。

業種別 漁協別 水揚状況 (昭和 57 年 8 月 16 日 ~ 8 月 31 日)

業種	所属漁協	延べ水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期
				隻	トン		
マグ	県	90	フィリピン、東海、琉球諸島及び西カロリン諸島	キハダ	52.5	78	57
				メバチ	15.8		
				マカジキ	2.4		
グ	漁連	166.8	琉球諸島	クロカワ	88.3	159	125.5
				シロカワ	0.3		
				メカジキ	4.1		
その他				2.3	県外搬入分 { クロカワ82.5 } トン含む { キハダ 2.9 }		
ロ	那覇地区	26	-	キハダ	19.7	22	15
				メバチ	7.5		
				マカジキ	0.2		
は	地区	42.6	-	クロカワ	11.1	67.8	72.1
				シロカワ	0.1		
				メカジキ	2.4		
その他				0.1	県外搬入分 { クロカワ 8.4 } トン含む { キハダ 1.0 }		
え	計	116	209.4	キハダ	72.2	226.8	197.6
				メバチ	23.3		
				マカジキ	0.5		
その他				0.9	100		
その他				2.4	72		

§ 漁況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚量は209.4トンで総延べ数は116隻であった。一日一隻あたりの平均水揚量は1.8トンであった。また、県漁連における最高水揚量は9.2トンで最低0.1トンであった。那覇地区漁協においては最高5.3トンで最低0.1トンであった。

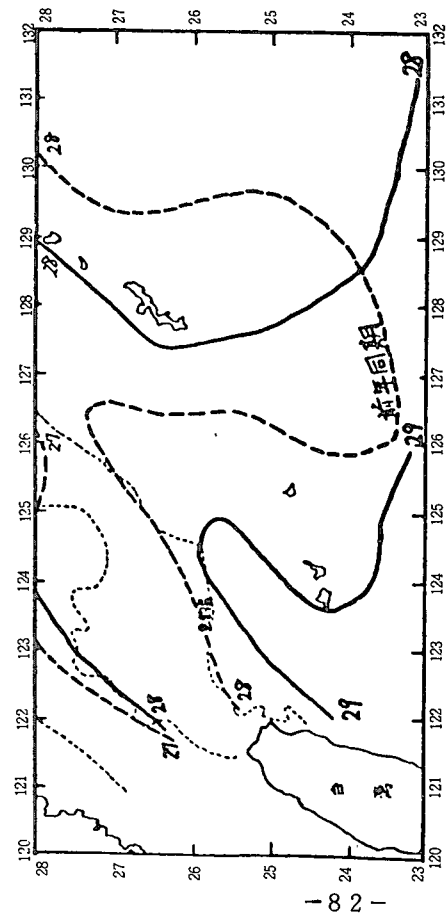
漁海況速報

沖繩県水産試験場
 ①901-03 沖繩県糸満市西崎町1丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899-4-8703

(第 31 報)
 (昭和 57 年度 第 11 報)

(昭和 57 年 9 月 1 日 ~ 9 月 15 日)

(沖繩沿岸海水温図)



(等温線は西日本海況旬報(風崎海洋気象台)より引用
 昭和57年9月1日~9月10日)

§ 海 況

沖繩近海の表面水温は27~29°C台で、8月後半に比べ先島周辺で1°C程昇温した。全般的には前年同期に比べ1°C程高めとなっている。沖繩島の南東海域で平年比1~1.5°C低い場合は平年並の水温である。9月6~7日に実施した沖繩島南東沿岸の観測結果では、南東沿岸は1ノット内外の南西~南の左まわりの流れとなっている。
 県下各地の沿岸水温は、那覇で27.9°C、宮古28.9°C(平年差-0.1°C)、石垣28.8°C(平年差-0.1°C)、与那国28.5°C(平年差-0.1°C)とはほぼ平年並の水温である。また、魚釣島近海で28.9°Cで平年差-0.3°Cとなっている。

業種別、漁協別水揚状況 (昭和57年9月1日~9月15日)

業種	所属漁協	延べ隻数	水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回 隻	前回 トン	昨年同期 隻	昨年同期 トン	
					キハダ	メバチ					
マグロ	県漁連	70	106.7	フィリピン、西カロリン諸島	キハダ	26.3	メバチ	15.5			
					ビンナガ	1.7	マカジキ	0.4			
					クロカワ	54.2	シロカワ	0.7			
					バシヨウ	0.7	メカジキ	5.2			
			その他	2.0							
				県外輸入分	キハダ34	クロカワ47.1	トン含む	90	166.8	59	99.8
					メバチ23	シロカワ0.2	トン含む				
はえ縄	那覇地区	18	31.1		キハダ	13.5	メバチ	7.3			
					ビンナガ	0.9	マカジキ	0			
					クロカワ	7.7	シロカワ	0.4			
					バシヨウ	0	メカジキ	1.1			
			その他	0.2							
				県外輸入分	キハダ0.3	その他0.0	トン含む	26	42.6	13	58.0
					クロカワ5.1						
計	88		137.8		キハダ	39.8	メバチ	22.8			
					ビンナガ	2.6	マカジキ	0.4			
					クロカワ	61.9	シロカワ	1.1			
					バシヨウ	0.7	メカジキ	6.3	116	72	157.8
			その他	2.2				209.4			

§ 漁 況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚量は137.8トンで総延隻数は88隻であった。一隻あたりの平均水揚量は1.6トンであった。また、県漁連における1隻あたり最高水揚量は9.4トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高5.7トンで最低0.2トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

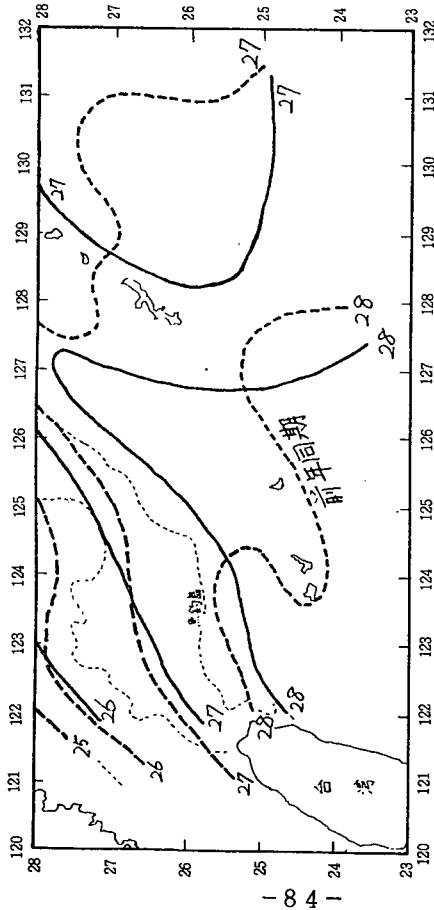
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 33 報)

(昭和 57 年度 第 13 報)

(沖繩沿近海水温図)

(昭和 57 年 10 月 1 日 ~ 10 月 15 日)



§ 海 況

沖繩近海の表面水温は 27 ~ 28°C 台で前回 (9 月後半) とほぼ同じである。前年同期に比べやや高めであるが、ほぼ平年並となっている。

県下各地の沿岸水温は那覇で 26.4°C (平年差 + 0.5°C)、石垣 27.6°C (平年差 + 0.5°C)、与那国 27.3°C (平年差 + 0.1°C) とほぼ平年並の水温である。また魚釣島近海で 27.6°C で平年差 + 0.2°C となっている。

業種別、漁協別水揚状況 (昭和 57 年 10 月 1 日 ~ 10 月 15 日)

業種	所属漁協	延べ水揚量 (トン)	漁場	魚種別水揚量 (トン)	前回		昨年同期		
					隻	トン	隻	トン	
マ	県漁連	74	ワイリ、及び西、カ、ロ、リ、ン、東、海、域、那、覇、島	キハダ	71.6	メバチ	15.0		
				ピンナガ	12.0	マカジキ	0.2		
				クロカワ	33.2	シロカワ	0.8		
グ	那覇地区	143.4	-	キハダ	38.9	メバチ	17.3		
				ピンナガ	6.6	マカジキ	0		
				クロカワ	4.0	シロカワ	1.3		
はえ縄	計	97	-	バシヨウ	0.2	メカジキ	5.0	23	18
				その他	0.8				
				県外搬入分	0				
		217.5			115.9		175.7	64.4	206.9

§ 魚 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は

217.5 トンで総延び隻数は 97 隻であった。一隻あたりの平均水

揚量は 2.2 トンであった。また県漁連における一隻あたり

最高水揚量は 14.6 トンで最低 0.1 トンであった。那覇地区

漁協においては最高 7.5 トンで最低 0.04 トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

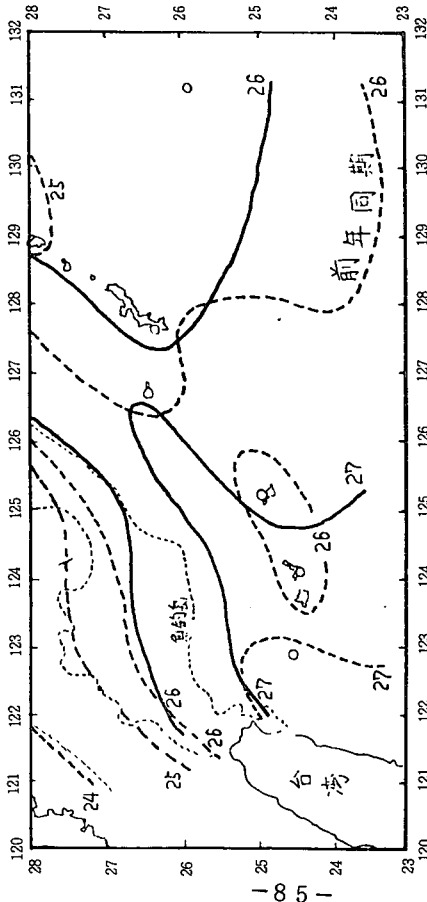
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 34 報)

(昭和 57 年度 第 14 報)

(沖繩沿岸海水温図)

(昭和 57 年 10 月 16 日 ~ 10 月 31 日)



(等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
昭和57年10月21日~10月31日)

§ 海 況

沖繩近海の表面水温は25°C~27°C台で9月後半に比べ1°C程降温した。昭和57年10月22日~10月23日に実施した沖繩本島南東沿岸の海洋観測結果での表層流は善屋武母沖、中城湾沖ともに南西~西の流れがみられた。流速は海域全般に0.3~0.6ノットの弱い流れであった。流向、流速ともに昨年同期とほとんど同様な傾向を示している。

県下各地の沿岸水温は那覇で24.5°C(宮古25.7°C(平年差+0.6°C)、石垣26.2°C(平年差+0.8°C)と那国26.3°C(平年差+0.1°C)で平年並である。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和 57 年 10 月 16 日 ~ 10 月 31 日)

業種	所属漁協	延べ水揚量 隻数(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回 隻トン	昨年同期 隻トン
				キハダ	メバチ		
マ	県	92	及び	36.1	16.9	74	58
			西	9.4	0.2		
			カロ	46.8	0.5		
			リン	1.6	5.7		
グ	漁連	119.1	その他	県外搬入分 {クロカワ43.3} トン含む		143.4	129.8
			那	28.7	18.2		
ロ	那	12	キハダ	0.6	0	23	19
			ピンナガ	5.6	0.5		
			クロカワ	0.3	2.0		
			パシヨウ	0.3	2.0		
は	那	56.2	その他	県外搬入分 {クロカワ0.9} トン含む		74.1	66.9
			え	64.8	35.1		
え	計	104	ピンナガ	10.0	0.2	217.5	77
			クロカワ	52.4	1.0		
			パシヨウ	1.9	7.7		
			その他	2.2	97		
総計		175.3				217.5	196.7

§ 漁 況

マグロはえ縄——
 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は175.3トンで総延び数は104隻であった。一隻あたりの平均水揚量は1.7トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚量は9.3トンで最低0.03トンであった。那覇地区漁協においては最高10.8トンで最低0.05トンであった。

漁海況速報

沖縄県水産試験場

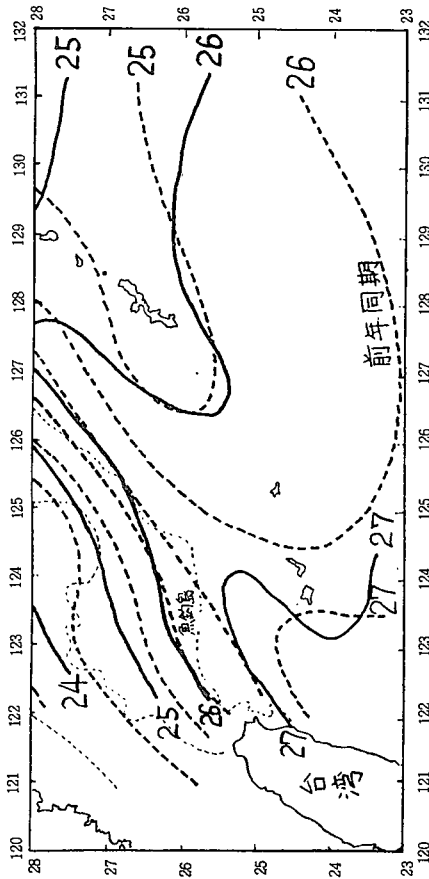
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 35 報)

(昭和 57 年度 第 15 報)

(沖縄沿近海水温図)

(昭和 57 年 11 月 1 日 ~ 11 月 15 日)



等温線は西日本海況旬報(Fisheries Oceanographic Bulletin)より引用
(昭和 57 年 11 月 1 日 ~ 11 月 10 日)

§ 海 況

沖縄近海の表面水温は 25°C ~ 27°C 台で前回 (10 月後半) とほぼ同じである。前年同様に比べてあまり差がなく、ほぼ平年並である。

県下各地の沿岸水温は那覇で 25.0°C、宮古 26.3°C (平年差 + 1.8°C)、石垣 26.0°C (平年差 + 1.3°C)、与那国 25.2°C (平年差 ~ 0.5°C) とほぼ平年並の水温である。また魚釣島近海で 26.5°C で平年差 + 0.8°C となっている。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和 57 年 11 月 1 日 ~ 11 月 15 日)

業種	所属漁協	延べ水揚げ数	水揚げ量 (トン)	漁場	魚種別水揚げ量 (トン)		前回水揚げトン	昨年同期水揚げトン		
					キハダ	メバチ				
マグロ	県漁連	88	139.3	フィリピン、西カロリン諸島	キハダ	48.2	メバチ	14.7	92	56
					ピンナガ	22.8	マカジキ	0.2		
					クロカワ	40.2	シロカワ	1.1		
					バシヨウ	1.4	メカジキ	8.5		
			その他	2.2						
				県外搬入分	{クロカワ 30.3, メカジキ 0.1}		トン含む	119.1	112.8	
那覇地区	那覇地区				キハダ	36.1	メバチ	15.0	12	14
					ピンナガ	15.7	マカジキ	0		
					クロカワ	4.6	シロカワ	0.2		
					バシヨウ	0.3	メカジキ	6.0		
			その他	0.6						
				県外搬入分	{クロカワ 12}		トン含む	56.2	61	
え縄	計	106	217.8		キハダ	84.3	メバチ	29.7	175.3	70
					ピンナガ	38.5	マカジキ	0.2		
					クロカワ	44.8	シロカワ	1.3		
					バシヨウ	1.7	メカジキ	14.5		
			その他	2.8						
				県外搬入分	{クロカワ 12}		トン含む	175.3	173.8	

§ 漁 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は 217.8 トンで総延獲数は 106 隻であった。一隻あたりの平均水揚げ量は 2.1 トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚げ量は 8.6 トンで最低 0.1 トンであった。那覇地区漁協においては最高 10.6 トンで最低 0.1 トンであった。

漁海況速報

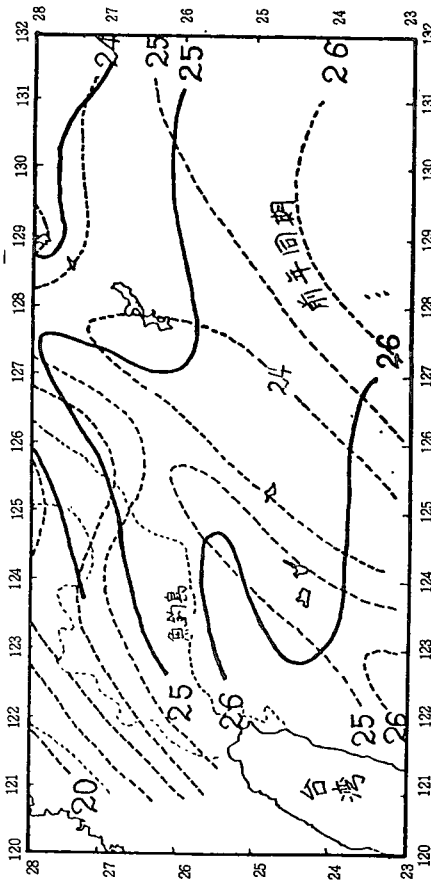
沖繩県水産試験場
 〒901-03 沖繩県糸満市西崎町1丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899-4-8703

(第 36 報)

(昭和 57 年度 第 16 報)

(昭和 57 年 11 月 16 日～11 月 30 日)

(沖繩沿岸海水温図)



(等温線は西日本海況旬報(整
 備海洋観測台)より引用
 (昭和57年11月16日～11月30日))

§ 海 況

沖繩近海の表面水温は24℃～26℃台で前回(11月前半)より1℃内外降温した。前年同期に比べて1.5℃内外高い。

県下各地の沿岸水温は那覇で24.4℃(平年差+1.9℃)、宮古24.5℃(平年差+1.9℃)、石垣24.6℃(平年差+1.8℃)、与那国25.6℃(平年差+1.3℃)で平年に比べて高目に経過している。また魚釣島近海でも25.9℃で平年差+1.5℃と高目に経過している。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年11月16日～11月30日)

業種	所属漁協	延べ水揚げ隻数	水揚げ量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回水揚げ量(トン)	昨年同期水揚げ量(トン)			
					88隻	87隻					
マグロ	県	67	124.1	フィリピン、西カリロリン、東ネグロ	キハダ	36.4	メバチ	9.5	88	133.3	142.1
	ピンナガ				30.9	マカジキ	0.5				
	クロカワ				33.5	シロカワ	1.1				
グロ	漁連	67	124.1	フィリピン、西カリロリン、東ネグロ	バシヨウ	1.6	メカジキ	8.4	88	133.3	142.1
	その他				2.2						
	県外搬入分(クロカワ23.8)トシ含み(シロカワ0.2)										
はえ縄	那覇地区	21	92.8	-	キハダ	56.9	メバチ	14.6	18	78.5	83.9
	ピンナガ				8.7	マカジキ	0				
	クロカワ				3.7	シロカワ	0.1				
え縄	計	88	216.9	-	バシヨウ	0.5	メカジキ	8.0	23	217.8	226
	その他				2.5						
	キハダ				83.3	メバチ	24.1				
					ピンナガ	33.6	マカジキ	0.5			
					クロカワ	37.2	シロカワ	1.2			
					バシヨウ	2.1	メカジキ	16.4	106	110	
					その他	2.5			217.8	226	

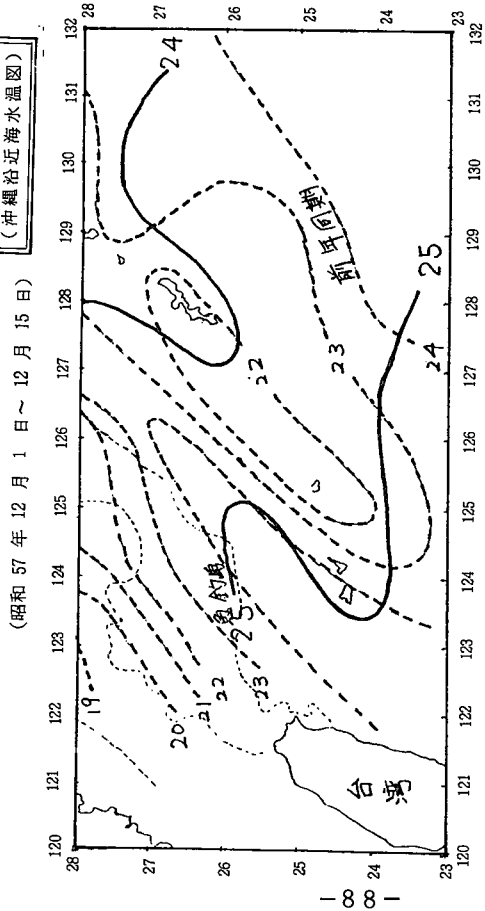
§ 漁 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚げ量は216.9トンで総延獲数は88隻であった。一隻あたりの平均水揚げ量は2.5トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚げ量は7.9トンで最低0.3トンであった。那覇地区漁協においては最高11.2トンで最低0.1トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場
 901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
 TEL 09899-4-3593
 テレファックス 09899-4-8703

(第 37 報)
 (昭和 57 年度 第 17 報)



(昭和 57 年 12 月 1 日 ~ 12 月 15 日)
 (沖縄沿岸海水温図)

等温線は西日本海況旬報(最
 崎海洋気象台)より引用
 (昭和57年12月1日~12月10日)

§ 海 況

沖縄近海の表面水温は24°C~25°C台で前回(11月後半)より1°C内外降温した。前年同期に
 くらべて1~2°C内外高い。
 県下各地の沿岸水温は那覇で23.3°C・宮古22.6°C(平年差+0.7°C)石垣23.2°C(平年
 差+1.0°C)・与那国24.8°C(平年差+0.9°C)で平年に比べて高目に経過している。
 また、魚釣島近海においても25.0°Cで平年差+1.2°Cと高目に経過している。

業種別、漁種別水揚げ状況 (昭和57年12月1日~12月15日)

業種	所属 漁協	延べ 隻数	水揚げ 量(トン)	漁場	魚種別 水揚量(トン)	前 回		昨年同期		
						隻	トン	隻	トン	
マ グ ロ は え 組	県 漁 連	85	174.6	及び フ リ ッ カ ロ リ ン 東 方 海 域 諸 島	キハダ	72.6	メバチ	13.5	67	65
					ビンナガ	20.6	マカジキ	0.2		
					クロカワ	50.0	シロカワ	1.2		
				パシヨウ	1.1	メカジキ	13.5			
				その他	1.8					
				県外輸入分	クロカワ47.3	トン含む			124.1	140.2
那 覇 地 区	那 覇 地 区	20	54.7	-	キハダ	37.7	メバチ	7.3	21	19
					ビンナガ	2.7	マカジキ	0.3		
					クロカワ	3.2	シロカワ	0.1		
				パシヨウ	0.3	メカジキ	3.0			
				その他	0.1					
				県外輸入分	クロカワ1.5	トン含む			92.8	109.8
計	105	229.3	229.3	-	キハダ	110.3	メバチ	20.8	88	84
					ビンナガ	23.3	マカジキ	0.5		
					クロカワ	53.2	シロカワ	1.3		
				パシヨウ	1.4	メカジキ	16.5			
				その他	1.9				216.9	250

§ 漁 況

マグロはえ組—— 県海連、那覇地区漁協におけるマグロはえ組の総水揚量は
 229.3トンで総延べ数は105隻であった。一隻あたりの平均
 水揚量は2.2トンであった。また県海連における一隻あたり
 量高水揚量は10.4トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁
 協においては最高8.3トンで最低0.1トンであった。

漁海況速報

沖縄県水産試験場

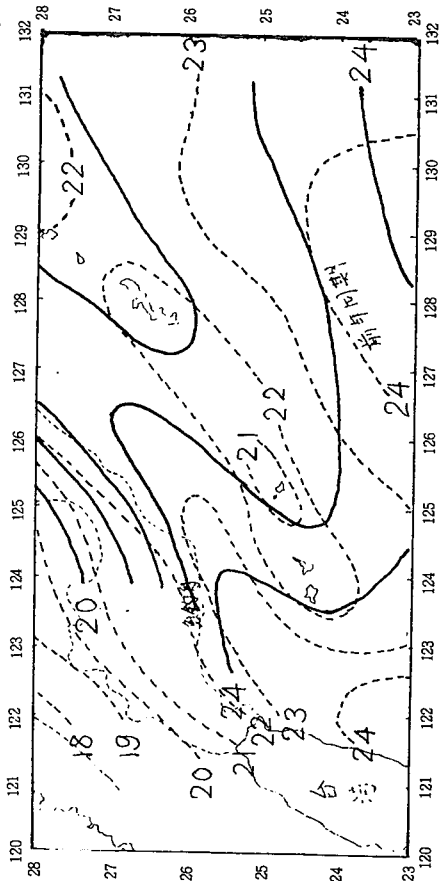
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 38 報)

(昭和 57 年度 第 18 報)

(昭和 57 年 12 月 16 日 ~ 12 月 31 日)

(沖縄沿岸海水温図)



等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
(昭和57年12月21日~12月31日)

§ 海 況

沖縄近海の表面水温は、24~21°C台で、12月前半に比べ、1~2°C程降温した。八重山近海で前年比1°C程高めとなっている。全般的に、平年並の水温である。当水試の12月23日の沖縄島東岸の観測では、喜屋武岬南東10マイル付近に0.9ノットの東流がみられる他は、中城湾沖合では、強い流れはみられなかった。

県下各地の沿岸水温は、那覇で21.9°C、宮古21.3°C(平年差+0.3°C)石垣22.5°C(同+1.1°C)、与那国(同+0.3°C)となっている。また魚釣島近海は23.6°Cで平年差+0.6°Cである。

業種別、漁協別水揚状況 (昭和 57 年 12 月 16 日 ~ 12 月 31 日)

業種	所属漁協	延べ水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期
				隻	トン		
マ	県漁連	135	キハダ ビンナガ クロカワ パシヨウ その他	メバチ	12.3	85	94
				マカジキ	1.1		
				シロカワ	6.0		
グ	那覇地区	288.0	キハダ ビンナガ クロカワ パシヨウ その他	メバチ	17.5	174.6	224.3
				マカジキ	0.7		
				シロカワ	0.9		
ろ	はえ縄	39	県外搬入分 {クロカワ91.0} トン含む	メバチ	29.8	20	24
				マカジキ	1.8		
				シロカワ	6.9		
え	計	410.4	その他	メバチ	12.9	229.3	118
				マカジキ	3.1		
				シロカワ	105		
				県外搬入分 {クロカワ5.0}		54.7	91.0
							315.3

§ 漁 況

マグロはえ縄

—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚量は410.4トンで総延べ数は174隻であった。一隻あたりの平均水揚量は2.4トンであった。また県漁連における一隻あたりの最高水揚量は11.1トンで最低0.05トンであった。那覇地区漁協においては最高11.9トンで最低0.04トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

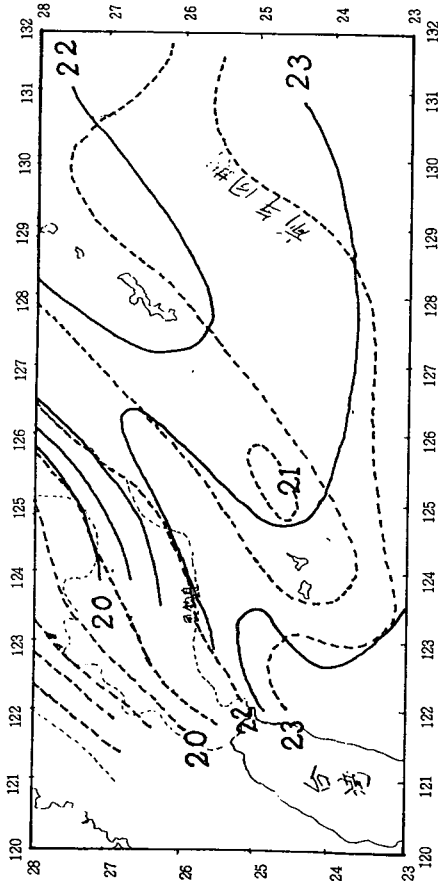
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 39 報)

(昭和 57 年度 第 19 報)

(昭和 58 年 1 月 1 日 ~ 1 月 15 日)

(沖繩沿近海水温図)



(等温線は西日本海況旬報(駿
崎海洋気象台)より引用
昭和57年1月1日~1月10日)

S 海 況

沖繩近海の表面水温は、21~23°C台で、12月下旬とほとんど変化ない。前年平均に比べ八重山近海で約1°C高めの他、ほぼ前年平均並の水温となっている。1月4日の石垣島~尖閣諸島までの11区保安本部による表面流況観測では尖閣諸島西側に1.2~2.5ノットの北上流がみられる。また、尖閣諸島南南東20~45マイルの間に0.9~1.2ノットの北東流がみられる。黒潮は、西表島の北西45マイル付近を流去している。県下各地の沿岸水温は、那覇で21.7°C、宮古21.6°C(平年差+1.3°C)、石垣22.3°C(同+1.6°C)と那国23.4°C(+0.8°C)で、全般に平年比高めである。また魚釣島近海では28°C(同+0.7°C)で平年比高めとなっている。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和58年1月1日~1月15日)

業種	所屬漁協	延べ水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回水揚量(トン)	昨年同期水揚量(トン)
				キハダ	メバチ		
マ	県漁連	59	及びフィリピン、西カロリン諸島	キハダ	61.8	メバチ	7.2
				ピンナガ	13.6	マカジキ	0.5
				クロカワ	41.1	シロカワ	0.2
				バンヨウ	1.4	メカジキ	7.3
			その他	0.6			
グ	那覇地区	19	県外搬入分 {クロカワ38.5} トン含む	135	288.0	44	125.1
ロ	那覇地区	19	キハダ	61.3	メバチ	7.5	
			ピンナガ	11.3	マカジキ	0.1	
			クロカワ	3.5	シロカワ	0.3	
			バンヨウ	0.2	メカジキ	4.4	
			その他	0.8			
は	那覇地区	19	県外搬入分 {クロカワ1.2} トン含む	39	142.4	19	65.3
え	計	78			410.4	63	190.4

S 魚 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚量は223.1トンで総延獲数は78隻であった。一隻あたりの平均水揚量は2.9トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚量は8.8トンで最低0.1トンであった。那覇地区漁協においては最高15.2トンで最低0.2トンであった。

漁海況速報

(第 40 報)

(昭和 57 年度 第 20 報)

沖縄県水産試験場

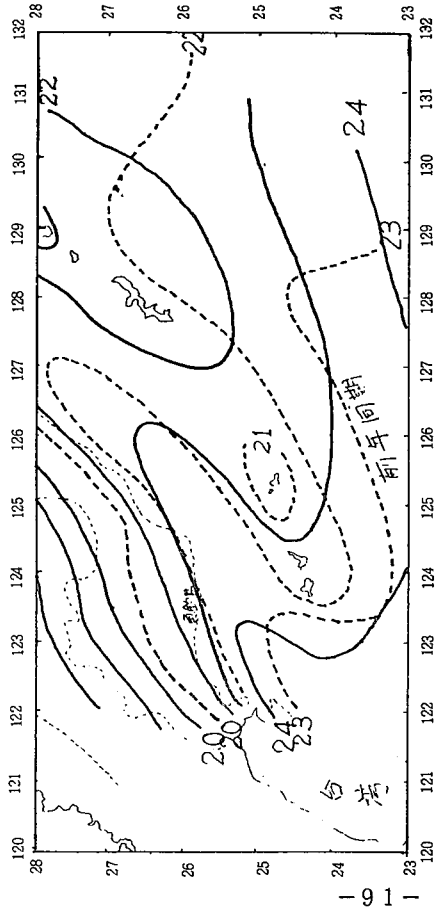
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目

TEL 09899-4-3593

テレファックス 09899-4-8703

(沖縄沿近海水温図)

(昭和 58 年 1 月 16 日 ~ 1 月 31 日)



等温線は西日本海況旬報(豊崎海洋気象台)より引用
(昭和58年1月21日~1月31日)

§ 海 況

沖縄近海の表面水温は、21~23°C台で1月上旬と変化がない。前年同期及び平年に比べ、先島近海の水温は、1°C程高めとなっている。1月18日に行なわれた第11管区海上保安本部による石垣-尖閣諸島間の表面流況観測では、尖閣の北側15マイル、及び南側15マイルの間に1.4~1.7ノットの東北東~東南東の強い流れがみられ、黒潮は、尖閣諸島を洗うように流れている。また西表島の北北西40マイル付近には、0.8ノット程度の南東流がみられる。県下各地の沿岸水温は、那覇20.5°C、宮古19.5°C(平年差-0.4°C)石垣20.2°C(同-0.1°C)、与那国22.0°C(同-0.3°C)で、平年並かやや低めである。また魚釣島近海は、23.0°C(同+0.7°C)で平年に比べ高めとなっている。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和58年1月16日~1月31日)

業種	所属漁協	延べ漁船隻数	水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期
					隻	トン		
マグロ	県漁連	69	141.6	及び西カロリン諸島	キハダ	メバチ	59	45
					ビンナガ	マカジキ		
					クロカワ	シロカワ		
はえ縄	那覇地区	23	64.9	その他	キハダ	メバチ	19	17
					ビンナガ	マカジキ		
					クロカワ	シロカワ		
計	計	92	206.5	その他	キハダ	メバチ	78	62
					ビンナガ	マカジキ		
					クロカワ	シロカワ		
					県外搬入分 {クロカワ47.4} トン含む	133.7	223.1	228.3

§ 漁 況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚量は206.5トンで総延獲数は92隻であった。一隻あたりの平均水揚量は2.2トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚量は10.1トンで最低0.4トンであった。那覇地区漁協においては最高9.6トンで最低0.3トンであった。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

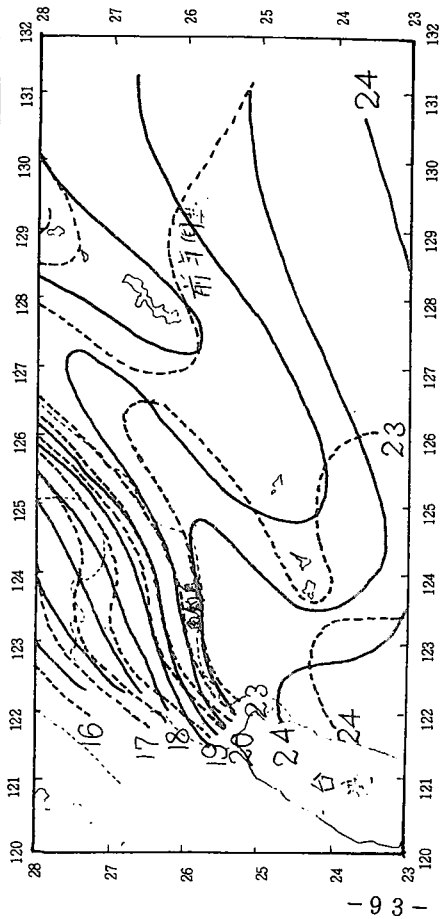
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 42 報)

(昭和 57 年度 第 22 報)

(昭和 58 年 2 月 16 日 ~ 2 月 28 日)

(沖繩沿岸海水温図)



等温線は西日本海況旬報(最
崎海洋気象台)より引用
(昭和58年2月21日~2月28日)

海況

沖繩近海の表面水温は、21~23°C台で、あまり2月上旬と変化はない。沖繩島及び宮古島周辺では、20~21°C台で平年並、八重山近海では、平年に比べ1°C内外高めとなっている。当水試が2月23~25日に行った沖繩島北西方での表面流況観測では、黒潮の流速は、最大2.4ノットで前年同期に比べ強勢である。また沖繩島の西岸には、反流はみられなかった。沖繩島南部海域では、菅屋武岬沖5~15マイルに0.5~0.8ノットの北東流がみられた。第11管区海上保安本部の西表島南方の観測(2月25日)では西表島の南20マイル付近に1ノット以上の南流がみられている。

県下各地の沿岸水温は、那覇19.7°C、宮古20.2°C(平年差-0.2°C)石垣21.3°C(同+0.5°C)与那国22.6°C(同-0.1°C)である。

また、魚釣島近海は、23.0°C(平年差+0.7°C)となっている。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和58年2月16日~2月28日)

業種	所属漁協	延べ隻数	水揚げ量(トン)	魚種別水揚げ量(トン)	前回隻トン	昨年同期隻トン
マグロ	県漁連	73	201.8	キハダ 108.9 ビンナガ 15.3 クロカワ 41.2 バショウ 2.4 その他 1.8 県外搬入分 {クロカワ35.6} トン含む	71	46
	那覇地区	21	111.6	キハダ 61.6 ビンナガ 8.9 クロカワ 1.9 バショウ 0.5 その他 0.3 県外搬入分	169.8	130.2
	え縄	94	313.4	キハダ 165.5 ビンナガ 24.2 クロカワ 43.1 バショウ 2.9 その他 2.1	117.1	77.6
計					287.5	207.8

漁況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は313.4トンで延べ隻数は94隻であった。一隻あたりの平均水揚げ量は3.3トンであった。また県漁連における一隻あたりの最高水揚げ量は11.4トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高11.1トンで最低0.3トンであった。

漁海況速報

(第 43 報)

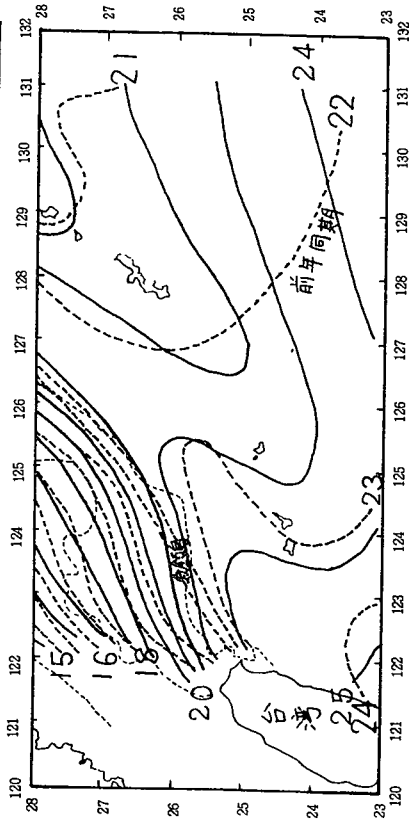
(昭和 57 年度 第 23 報)

沖繩県水産試験場

〒901-03 沖繩県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(昭和 58 年 3 月 1 日 ~ 3 月 15 日)

(沖繩沿岸海水温図)



(等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
昭和58年3月1日~3月10日)

海況

沖縄近海の表面水温は、21~24°C台で、2月下旬に比べ1°C程昇温した。

沖縄島周辺では、平年に比べ1°C程高めの水温となっている。

県下各地の沿岸水温は、那覇 21.0°C(平年差+0.1°C) 石垣 21.6°C(同+0.3°C) 与那国 23.4°C(同+0.4°C)となっている。また魚釣島近海では 23.0°C(同+0.5°C)となっている。

3月上旬に行われた漁海況予報会議の予報では、昭和58年4月~9月までの沖縄近海の沿岸表面水温は、前半は、平年に比べやや低めに経過するが、後半は平年並もしくは、やや高くなるかみである。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和58年3月1日~3月15日)

業種	所属漁協	延べ水揚量(トン)	漁場	魚種別水揚量(トン)		前回	昨年同期	
				隻	トン			
マグロ	県漁連	92	及び西カオリ	キハダ	46.5	17.8	73	59
			シロコ	マカジキ	33.9	1.4		
			バショウ	メカジキ	55.9	1.5		
グロ	那覇地区	22	その他	その他	2.3	0.0	201.8	130.0
			県外輸入分	メバチ	29.4	13.8		
			県外輸入分	マカジキ	14.8	0.4		
はえ縄	計	114	その他	シロコ	0.5	0.0	21	27
			バショウ	0.6	5.0			
			その他	0.9	0.0			
		292.4	県外輸入分 {クロカワ1.0} トン含む		313.4	293.3		

漁況

マグロはえ縄—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚げ量は 242.4 トンで総延獲数は 114 隻であった。また県漁連における一隻あたり最高水揚げ量は 8.5 トンで最低 0.2 トンであった。那覇地区漁協においては最高 8.7 トンで最低 0.3 トンであった。

カツオ情報

3月上旬に行われた漁海況予報会議の情報

(日南分場)

表面水温は 10 N から沖縄南方海域にかけて例年より約 1°C 低めに推移しており、小型群主体のようである。大型群はあまり見られていない。小型群の目まわりは 1.1 ~ 1.3 K 位で例年より 0.2 K ほど小さい。沖縄南方海域への主群の来遊は例年より 1 旬遅れている。

(鹿児島)

薩南海域への小型魚 (1 ~ 1.5 K) の来遊は例年より早く、屋久島ではすでに小型主体、中型廻りの漁があり、5 トン程度の漁、また宇治群島方面でも曳縄により好漁がみられた。

(宮崎)

本年 1 月中旬 ~ 2 月上旬に、種子島、屋久島及び日向灘中部で好漁があり (1 ~ 4 K 3 K 主体)、近年では珍しい現象である。

漁海況速報

沖繩県水産試験場

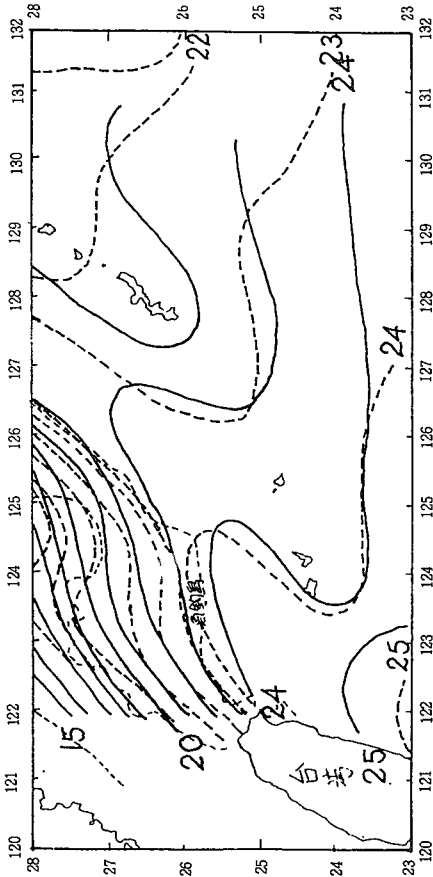
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目
TEL 09899-4-3593
テレファックス 09899-4-8703

(第 44 報)

(昭和 57 年度 第 24 報)

(昭和 58 年 3 月 16 日 ~ 3 月 31 日)

(沖繩沿岸海水温図)



等温線は西日本海況旬報(長崎海洋気象台)より引用
(昭和58年3月21日~3月31日)

海況

沖繩近海の表面水温は、21~24℃台で、3月上旬とあまり変化がなく、前年同期及び平年並の水温となっている。3月30日~31日に実施した沖繩島南部及び金武湾沖合の観測では喜屋武岬南東沖合23℃台、中城湾東沖22℃台、金武湾東沖21~22℃台の水温であった。

県下各地の沿岸水温は、那覇21.1℃、宮古22.3℃(平年差+0.8℃)、石垣23.4℃(同+1.3℃)と那国23.2℃(同-0.4℃)となっている。

また、魚釣島近海23.7℃で平年差+0.4℃である。

長崎海洋気象台の昭和58年6~9月の東シナ海南部の海況予想では、表面水温は平年並、また黒潮の流量は平年並の見込みである。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和58年3月16日~3月31日)

業種	所属漁協	延べ漁獲数	水揚げ量(トン)	漁場	魚種別水揚げ量(トン)		前回獲トン	昨年同期獲トン			
					キハダ	メバチ					
マグロ	県漁連	95	205.1	フィリピン、西カロリン諸島	キハダ	77.0	36.4	92	74		
					ピンナガ	18.9	1.9				
					クロカワ	58.6	1.7				
					バシヨウ	1.9	6.2				
その他					2.5	}		174.2	154.3		
県外搬入分 { クロカワ54.2 } トン含む					マカジキ0.05						
那覇地区	那覇地区	17	63.8	"	キハダ	31.9	14.4			22	52
					ピンナガ	9.2	0.7				
					クロカワ	2.7	0.6				
					バシヨウ	0.3	3.6				
その他					0.4	}		88.2	144.4		
県外搬入分 { }					} トン含む						
え縄	計	112	288.9	"	キハダ	108.9	50.8			114	128
					ピンナガ	28.1	2.6				
					クロカワ	61.3	2.3				
					バシヨウ	2.2	9.8				
その他					2.9	}		242.4	286.7		
県外搬入分 { }					}						

漁況

マグロはえ縄

—— 県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は288.9トンで総延獲数は112隻であった。一隻あたりの平均水揚げ量は2.4トンであった。また県漁連における一隻あたり最高水揚げ量は10.1トンで最低0.5トンであった。那覇地区漁協においては最高10.0トンで最低0.5トンであった。